BUFFALO

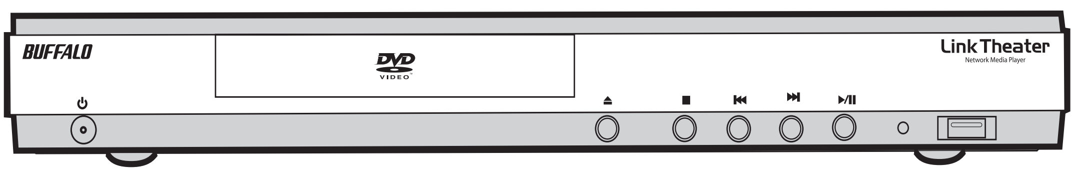
リンク シアター

LinkTheater™

ネットワークメディアプレーヤー

PC-P3LAN/DVD

ユーザーズマニュアル

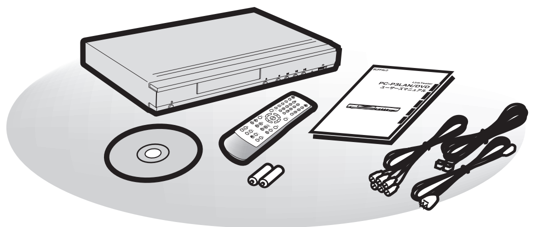


はじめに
接続・準備
使ってみよう
詳細設定
付録

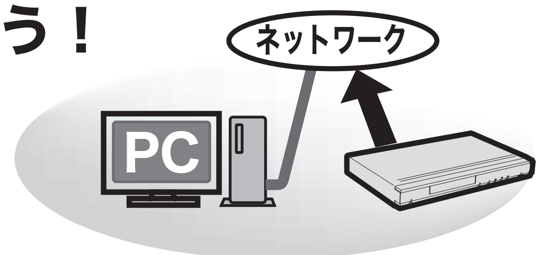
セットアップのながれ

LinkTheater PC-P3LAN/DVD

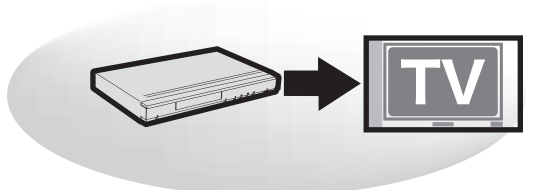
梱包物を確認しよう！
9ページ参照



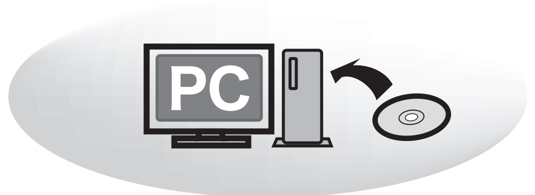
本製品をLANケーブルでネットワーク(パソコン)に接続しよう！
19ページ参照



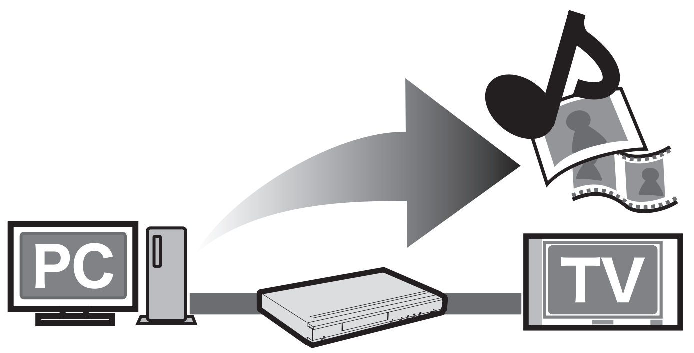
本製品をテレビに接続しよう！
23ページ参照



パソコンにソフトウェアをインストールしよう！
26ページ参照



再生しよう！
30ページ参照



本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク..............⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意してすべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク....次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
A: フロッピードライブ
C: ハードディスク
E: CD-ROM ドライブ
・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
・文中<　>で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。（例）<Enter>
・Microsoft Windows Millennium Edition を WindowsMe と表記しています。

■ BUFFALO™、AirStation™、LinkStation™、LinkTheater™ は、株式会社バッファローの商標です。DivX®、DivX Certified™ ロゴはアメリカ合衆国、及びその他の諸国における Divx Networks 社の登録商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、© などのマークは記載していません。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 危険	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△⃠●の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：⚠感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：⃠分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：●プラグをコンセントから抜く）

⚠危険

⃠ 禁止

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

・分解、改造しない。
・電極の（＋）と（－）を針金等の金属で接続しない。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
・火の中に入れたり、過熱したりしない。
・釘を刺したり、かなづちでたたいたり、踏みつけたりしない。

以上のことを守らないと、液漏れ･発熱、発火、破裂し、やけど･けがをする恐れがあります。

⚠ 警告

禁 止

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 分解・改造・修理・充電しない。
- 使用した電池と未使用の電池、種類の異なる電池、異なるメーカの電池を混在して使用しない。
- 電極の（＋）と（－）を間違えて挿入しない。
- 消耗しきった電池を入れたままにしない。

以上のことを守らないと､液漏れ･発熱､発火、破裂し、やけど･けがをする恐れがあります。

接触禁止

電池内部の液が漏れたときは、液に触れないでください。

やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

強 制

電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。

指定以外の電池を使用すると､液漏れ･発熱・破裂し､やけど･けがをする恐れがあります。

強 制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁 止

AC100V(50/60Hz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強 制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁 止

電源ケーブルを傷つけたり、加工､加熱､修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に､電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしなでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強 制

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など､水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

レーザー光線を直視しないでください。

トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

強制

静電気による破損を防ぐため､本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は､本製品を破損､またはデータを消失､破損させるおそれがあります。

強制

電源ケーブル（または AC アダプタ)、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。

本製品付属以外の電源ケーブル（内部接続用を含む)、AC アダプタ、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

強制

本製品を長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲が汚れるなどの原因になります。

禁止

液漏れの発生した電池は使用しないでください。

そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
- 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ　→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

注意

CDメディア･DVDメディア（以後メディアと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

- 直射日光を当てないでください。
- シンナーやベンジン等の有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。

  汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へ向って軽く拭き取ってください。
- 表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- 高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。
- 表面に手を触れないでください。

  両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
- 持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。

⚠注意

禁止

ひびわれや変形、補修したメディアは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

禁止

メディアの反射層が剥離する原因となりますので、次のことは行わないでください。

- 表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。

禁止

本製品にメディアを入れたまま移動させないでください。

本製品の動作中または、メディアを本製品に入れた状態で移動しないでください。

メディア、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずメディアを取り出し、電源をOFFにしてから行ってください。

強制

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、メディアの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

はじめに

パッケージの内容 9

各部の名前と機能 10

本体前面 10

本体背面 12

リモコン 13

リモコンのに電池を入れる 17

リモコンの使いかた 17

制限事項 18

接続・準備

接続・準備の手順 19

必要な機器 20

本製品をパソコンまたはネットワークに接続する 21

無線で接続する場合 21

インターネットをお使いの場合 22

パソコンと直接接続する場合 22

本製品をテレビに接続する 23

付属のビデオ / オーディオケーブルで接続 ..23

高品質の映像を楽しむ（S 映像入力端子に接続） 23

さらに高品質な映像を楽しむ（コンポーネントや D 入力端子に接続） ..24

本製品に音響機器を接続する場合 ...25

本製品に電源ケーブルを接続する ...25

パソコンに PCast Media Server をインストールする 26

Windows 26

Mac OS X 28

本製品の電源を入れる 29

使ってみよう

再生できるディスクとファイルの種類 ..30

ディスクを再生する 31

DVD ビデオを再生する 32

DVD ビデオ再生時の操作 32

USB ポートに接続した機器から再生する .33

パソコンのデータを再生する 34

映像ファイルを再生する 34

音楽ファイルを再生する 35

写真ファイルを再生する 36

再生するフォルダを追加、変更する ..37

フォルダを変更したい 37

フォルダを複数追加したい (動画、音楽のみ) ...38

パソコンにパスワードを設定する ...39

パソコンを追加、削除する 40

パソコンを追加する 40

パソコンを削除する 41

再生できるファイルをパソコンで確認する .42

PCast Media Server を起動する 42

ビデオ (動画）ファイルを確認する 42

音楽ファイルを確認する 43

写真ファイルを確認する 43

DLNA 対応メディアサーバのデータを再生する 44

Windows Media Connect サーバのデータを再生する 44

詳細設定

本製品の詳細設定..............................45

詳細設定画面を表示する..........................45

詳細設定画面 (1)..46

詳細設定画面 (2)..47

詳細設定画面 (3)..48

詳細設定画面 (4)..48

PCast Media Server の設定......49

設定画面を表示する (Windows).......49

一般設定 (Windows)..............................49

動画設定 (Windows)..............................50

音楽設定 (Windows)..............................51

写真設定 (Windows)..............................52

言語設定 (Windows)..............................52

テーマ設定 (Windows)..........................52

設定画面を表示する (Mac OS X)....53

設定 (Mac OS X)......................................53

付録

ルータをお持ちでない方へ
(IP アドレスを手動で設定する手順)..54

パソコンの IP アドレスを確認する..54

本製品の IP アドレスを設定する.......57

LinkStation のデータを再生するには..58

ご注意..58

再生するまでの手順..58

ネットワークに LinkStation を追加する...59

LinkStation のファームウェアを
アップデートする...60

LinkStation の設定画面で再生する
フォルダを設定する...61

LinkStation のデータを再生する...........61

LinkTheater のファームウェア
アップデート方法..............................62

用語集...64

困ったときは......................................65

仕様...70

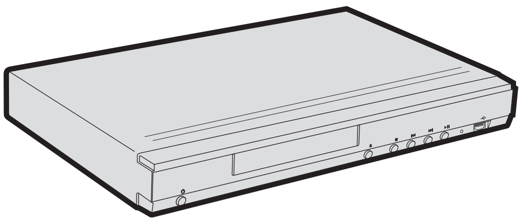
はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

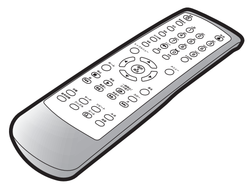
パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。確認した項目には ✓ をつけてください。
万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

□PC-P3LAN/DVD（本体）........................ 1 台



□リモコン .... 1 個



□電源ケーブル（1.8m）..........1 本



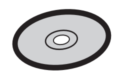
□単四形乾電池 (リモコン用)..2 個



□LAN ケーブル（ストレート /1.8m)...1 本



□ユーティリティ CD .... 1 枚



□ビデオ / オーディオケーブル (1.5m)...1 本



☑ユーザーズマニュアル（本書)..1 冊

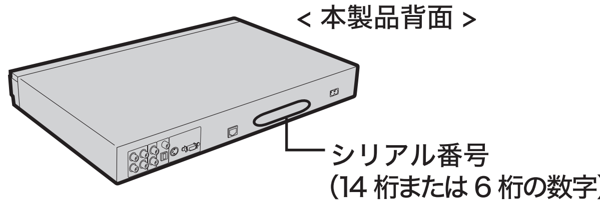


※本製品の保証書は本書（P73）に印刷されています。修理の際は必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

メモ ユーザー登録や修理のときにシリアルナンバー（製造番号）の入力が必要です。本製品を設置する前に、シリアル番号を P73 の保証書に記入してください。

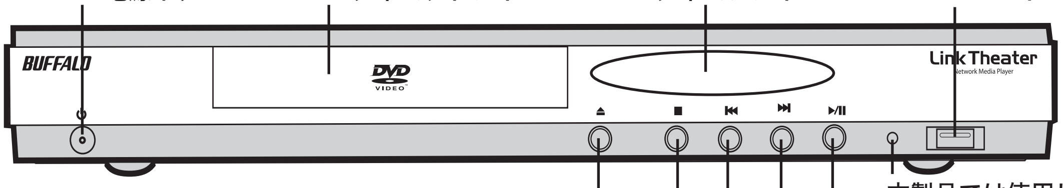
< 本製品背面 >



各部の名前と機能

本体およびリモコンの、各部の名前と機能を説明します。

本体前面



1. 電源ボタン

電源の ON/OFF を切り替えます。

メモ 電源ボタンは電源 OFF 時に赤色に点灯し、ON 時は緑色に点灯します。

2. ディスクトレイ

ディスクをのせるトレイです。

3. ディスプレイ

本体の動作状態を表示します。

4. USB ポート (シリーズ A)

ハードディスクやフラッシュメモリ、カードリーダー、デジタルカメラを接続できます。

5. 開閉ボタン

ディスクトレイを開閉します。

6. 停止ボタン

ディスク／ファイル再生時に押すと、再生を停止します。

7. 前スキップボタン

ディスク再生時に押すと、前トラックへ移動します。

映像／音声ファイル再生時に押すと、ファイル先頭へ移動します。

8. 次スキップボタン

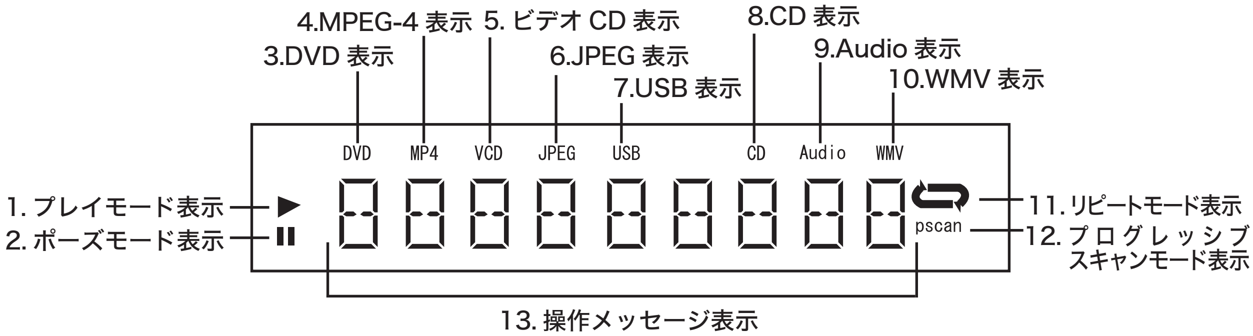
ディスク再生時に押すと、次トラックへ移動します。

9. 再生／一時停止ボタン

ディスクを再生します。

ディスク／ファイル再生時に押すと、再生を一時停止します。もう一度押すと一時停止を解除します。

■ディスプレイ



1. プレイモード表示
ファイル再生中に表示します。

2. ポーズモード表示
再生を一時停止している場合に表示します。

3. DVD 表示
DVD ディスク再生時に表示します。

4. MPEG-4 表示
MPEG-4ファイル(*.AVI)再生時に表示します。

5. ビデオ CD 表示
ビデオ CD ディスク再生時に表示します。

6. JPEG 表示
JPEG 画像再生時に表示します。

7. USB 表示
本製品前面の USB ポートに USB 機器を接続したときに表示されます。

8. CD 表示
CD-DA ディスク再生時に表示します。

9. Audio 表示
オーディオファイル再生時に表示します。

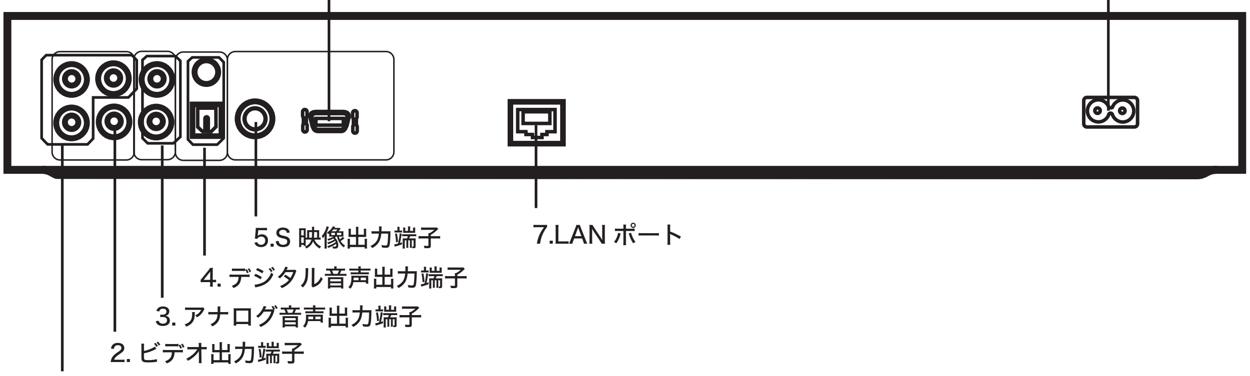
10.WMV 表示
Windows Media Video ファイル（*.WMV）再生時に表示します。

11.リピートモード表示
リピートモード再生時に表示されます。

12.プログレッシブスキャンモード / 高解像度表示
ビデオ出力信号がプログレッシブ出力や高解像度 (480P 以上) の場合に表示されます。

13.操作メッセージ表示
再生トラック番号、再生経過時間、本機器の動作状態を表示します。

本体背面



1. 色差コンポーネント出力端子（緑、青、赤）
市販のコンポーネントケーブルを接続します。

2. ビデオ出力端子（黄）
付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

3. アナログ音声出力端子（赤、白）
付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

4. デジタル音声出力端子
市販のデジタル音声ケーブルを接続します。上が同軸タイプ (橙)、下が光角型のコネクタです。

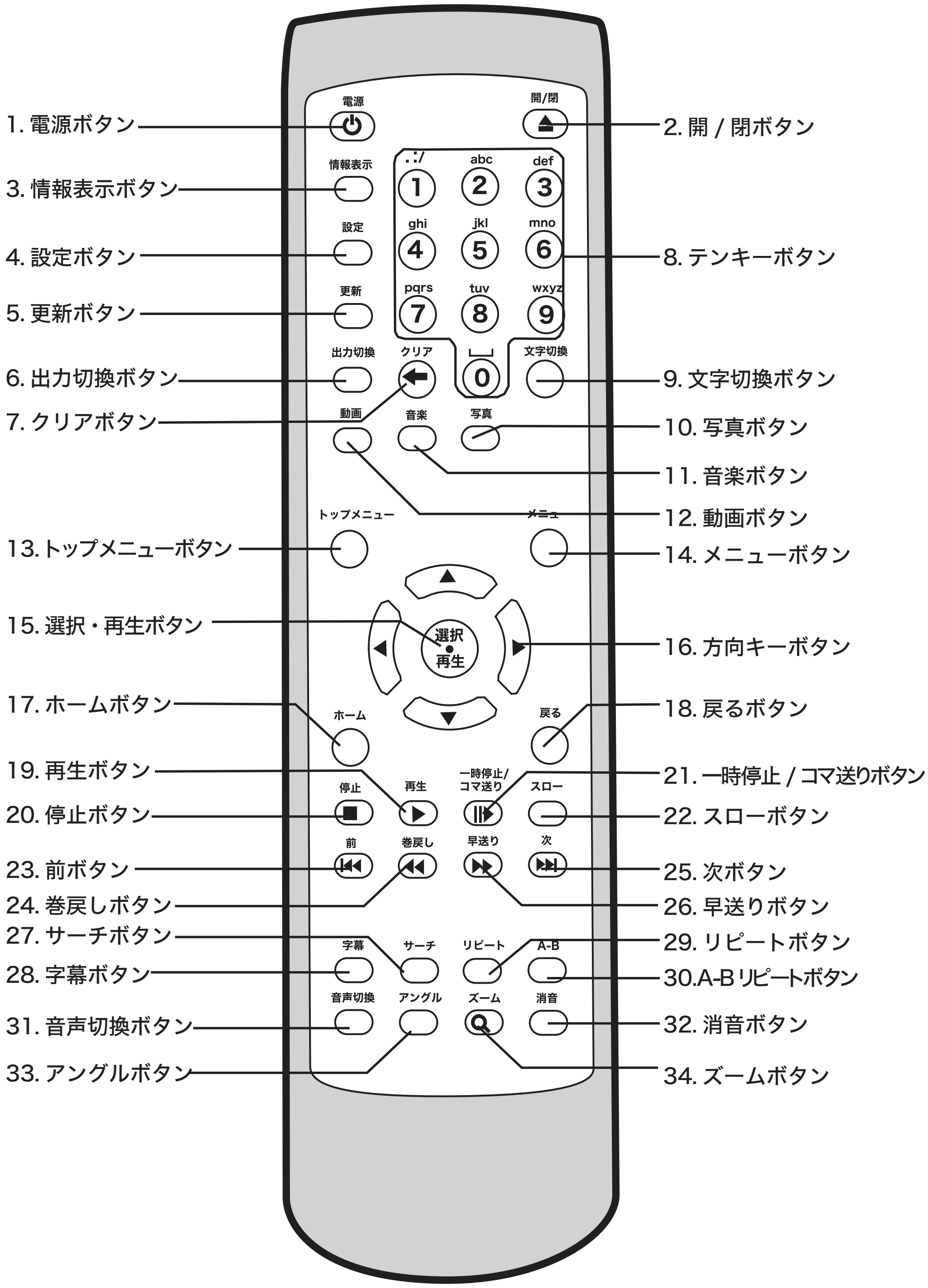
5. S 映像出力端子
市販の S 映像ケーブルを接続します。

6. D4 出力端子
市販の D 端子ケーブルを接続します。

7. LAN ポート
LAN ケーブルを接続します。

8. AC 電源入力端子
付属の電源ケーブルを接続します。

リモコン



1. 電源ボタン

電源を ON ／ OFF します。

2. 開 / 閉ボタン

ディスクトレイを開閉します。

3. 情報表示ボタン

ディスク／ファイル再生時に押すと、現在再生しているディスク／ファイルの情報をテレビ画面に表示します。
詳細設定画面表示時に押すと､表示が消えます。

4. 設定ボタン

本製品の詳細設定画面を表示します。

5. 更新ボタン

詳細設定画面／トップ画面／ファイル一覧表示時に押すと、画面項目が更新されます。

6. 出力切換ボタン

ボタンを押すごとにビデオＹ出力のモードを切り替えます。テレビの接続にあわせて適切なモードに切り替えてください。表示形式は次のとおりです。

コンポジット/S-Video(出荷時設定)
↓
コンポーネント480i
↓
コンポーネント480P(※)
↓
コンポーネント720P(※)
↓
コンポーネント1080i(※)

※コンポーネントまたはD4端子からのみ
ビデオ信号が出力されます。

テレビモードボタンを押すと「テレビモードを切り換えました。設定を保存しますか？」と表示されます。保存するときはそのまま [選択・再生] ボタンを押してください。

- **ビデオ出力端子または S 映像出力端子に接続した（P23 の方法で接続した）場合**
  [コンポジット /S-VIDEO] を選択してください。
- **色差コンポーネント出力端子に接続した（P24 の方法で接続した）場合**
  テレビの出力端子に合わせてモードを選択しください。

		テレビ側の出力端子			
		D1 端子	D2 端子	D3 端子	D4 端子
モード	コンポーネント 480i	○	○	○	○
	コンポーネント 480P	-	○	○	○
	コンポーネント 1080i	-	-	○	○
	コンポーネント 720P	-	-	-	○

○：表示できます　-：表示できません

⚠注意
- **テレビモードボタンを押してテレビ画面に何も表示されなくなった場合、そのまま 15 秒ほどお待ちください。元のモードに戻ります。**
- **ボタンを続けて押すと正常に切り替わらないことがあります。ボタンはゆっくりと押してください。**

[コンポーネント 480p] または [コンポーネント 720P] を選択した場合、プログレッシブ再生を行います。プログレッシブ再生とは、1 枚の画面を 1 回の走査で表示する形式で、画面のチラつきを抑えることができます。

7 ～ 9. クリアボタン、テンキーボタン、文字切換ボタン

数字を入力する

テンキーボタンを押します。
0123456789

英字 (小文字) を入力する

[文字切換] ボタンを 1 回押してから、テンキーボタンを押します。すばやく複数回押すことで英字が切り替わります。
例 :a → b → c

英字 (大文字) を入力する

[文字切換] ボタンを 2 回押してから、テンキーボタンを押します。すばやく複数回押すことで英字が切り替わります。
例 :A → B → C

記号を入力する

[文字切換] ボタンを 1 回押してから、テンキーボタンの [1] を押します。すばやく複数回押すことで記号が切り替わります。
1 → . → : → / → @ → (→) → , → ! → ? → ; → & →
→ * → = → - → + → " → ' → < → → > → _ → $ →
% → ` → ˜ → ^ → \ → | → [→] → { → }

半角スペースを入力する

[文字切換] ボタンを 1 回押してから、テンキーボタンの [0] をすばやく 2 回押します。

入力した文字を削除する

[クリア] ボタンを押します。1 回押すごとにカーソルの左側の文字を 1 文字削除します。

10.写真ボタン

写真カテゴリの一番上の階層へダイレクトにジャンプします。

11.音楽ボタン

音楽カテゴリの一番上の階層へダイレクトにジャンプします。

12.動画ボタン

動画カテゴリの一番上の階層へダイレクトにジャンプします。

13.トップメニューボタン

ディスク再生時に押すと、DVD ビデオやビデオ CD のトップメニュー画面を表示します。

14.メニューボタン

ディスク再生時に押すと、DVD ビデオやビデオ CD のメニュー画面を表示します。

15.選択・再生ボタン

カーソルが選択している項目を確定します。ファイルを選択していた場合、そのファイルを再生します。

16.方向キーボタン

- **ファイル選択時**
  画面中のカーソルを上下左右に移動します。
- **動画・音楽ファイル再生時**
  ▼▲ボタンで次のファイルや前のファイルを再生します (全再生・ランダム再生時のみ有効)。
  ◀ ▶ボタンで再生ファイルの任意の時間にジャンプできます。時間の指定は%で行います。
  例：30 分の動画ファイルで 15 分経過した場面を見たいときは、[50%] を指定します。
- **写真ファイル再生時**
  上下ボタンで次の写真や前の写真を再生します。左右ボタンはズーム使用時に拡大縮小に使用します。

17.ホームボタン

本製品のトップ画面（再生するディスクやサーバーを選択する画面）を表示します。

18. 戻るボタン

ディスク再生時、またはトップ／詳細設定画面表示時に押すと、前に表示していた画面に戻ります。

19.再生ボタン

設定画面表示時やファイル選択時に押すと、ディスクを再生します。

20.停止ボタン

ディスク／ファイルの再生を停止します。

21.一時停止／コマ送りボタン

ディスク／ファイル再生時に押すと、再生を一時停止します。DVD ビデオやビデオ CD ディスクの一時停止時に押すと、コマ送りします。1 倍速再生に戻したいときは、再生ボタンを押してください。

⚠注意 **ネットワークを経由して再生しているときは、コマ送りできないことがあります。**

22.スローボタン

ディスク／映像ファイルをスローで再生したい場合に使用します。

DVD ビデオを再生しているときにボタンを押すと、1/2 倍速→1/4 倍速→1/8 倍速の順でスロー再生の速度が切り替わります。1 倍速再生に戻したいときは、再生ボタンを押してください。

⚠注意 **ネットワークを経由して再生しているときは、画面に「無効」と表示され、スロー再生できないことがあります。**

23.前ボタン

音楽 CD や DVD ディスク再生時に押すと、現在再生しているトラックの先頭へスキップします。

また、ファイル選択画面などが 1 画面に収まっていない場合に画面をスクロールします。

24.巻戻しボタン

ディスク／映像ファイル再生時に押すと、巻戻しします。

DVD ビデオを再生しているときにボタンを押すと、8 倍速→ 16 倍→ 32 倍速→ 48 倍速の順で巻戻しの速度が切り替わります。1 倍速再生に戻したいときは、再生ボタンを押してください。

25.次ボタン

音楽 CD や DVD ディスク再生時に押すと、次のトラックへスキップします。

また、ファイル選択画面などが 1 画面に収まっていない場合に画面をスクロールします。

26.早送りボタン

ディスク／映像ファイル再生時に押すと、早送りします。

DVD ビデオを再生しているときにボタンを押すと、8 倍速→ 16 倍速→ 32 倍速→ 48 倍速の順で早送りの速度が切り替わります。1 倍速再生に戻したいときは、再生ボタンを押してください。

27.サーチボタン

DVD ビデオ再生時に押すと、タイムサーチ画面を表示します。タイムサーチ画面から時間またはタイトル／チャプターを指定すると、指定した場所からディスクを再生できます。

28.字幕ボタン

複数の字幕を持つ DVD ディスクや映像ファイルの再生時に押すと、表示する字幕を切り替えます。

29.リピートボタン

・ディスク再生時
ディスクをリピート再生したい場合に使用します。一度ボタンを押すと、再生中のチャプターをリピート再生します（DVD ディスク再生時のみ）。もう一度押すと、再生中のタイトルをリピート再生します。
リピート再生を解除する場合は、さらにもう一度ボタンを押します。

・パソコンのファイル選択時
パソコンのファイル選択時にボタンを押すと、画面に表示されている映像ファイルと音楽ファイルを連続で再生します。

・LinkStation™ のファイル選択時
LinkStation をお使いの場合、画面上の [全再生] ボタンを選択してリピート再生中、リピート方法を切り換えることができます。

⚠注意 **再生ファイルが 1 つだけの場合、リピートボタンは使用できません。**

30.A-B リピートボタン

音楽CDやDVDビデオ再生時、指定した範囲でディスクをリピート再生したい場合に使用します。
指定したい範囲の開始位置で一度ボタンを押し、終了位置でもう一度押します。
これで指定範囲内のリピート再生が始まります。
リピート再生を解除する場合は、もう一度ボタンを押します。

31.音声切換ボタン

複数の音声を持つDVDディスクの再生時に押すと、指定の音声を再生します。
映像ファイルや音楽ファイルの再生時に押すと、左音声→右音声→ステレオの順に切り替えます。

32.消音ボタン

音声のON／OFFを切り替えます。

33.アングルボタン

複数のアングルを持つDVDディスクの再生時に押すと、再生アングルを切り替えます。画像（フォト）ファイルを表示しているときは、90度ごとに画像を回転します。

34.ズームボタン

DVDディスク再生時に押すと、ズーム（拡大表示）します。ズームボタンを押すごとに拡大率が4段階切り替わります。
写真ファイル再生時に押すと、拡大表示が可能です。ズーム倍率は、方向キーボタン◀▶で調節してください。
映像ファイル再生時に押すと、[実サイズ表示]→[画面に合わせて表示]→[フルスクリーン表示]の順で切り替わります。

実サイズ表示：
ファイル本来の解像度で表示
画面に合わせて表示：
画面の比率を維持したまま最大拡大表示
フルスクリーン表示：
画面の比率に関係なく画面全体に表示

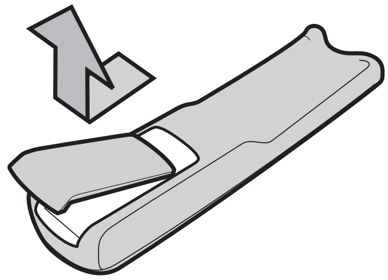
※映像ファイル再生時のズームについて

P46[高解像度表示モードを有効にする]にチェックマークが入っていない場合、720×480の映像が画面全体に表示される設定となります。
720×480より小さいサイズの映像を[実サイズ表示]した場合、小さく表示されますので、ズームボタンで表示を切り換えてください。

P46[高解像度表示モードを有効にする]にチェックマークが入っている場合、1280×720の映像が画面全体に表示される設定となります。
1280×720より小さいサイズの映像を[実サイズ表示]した場合、小さく表示されることがあります。このようなときは、フルスクリーン表示に変更してください。

リモコンに電池を入れる

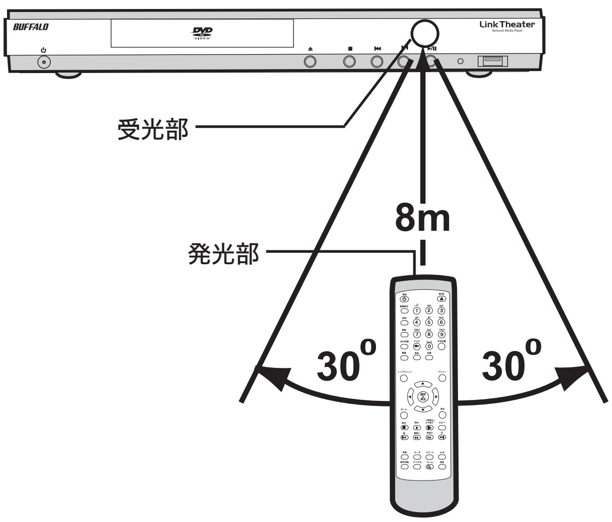
リモコンを使用できるように電池を入れます。本製品のリモコンは単４形乾電池２本で動作します。リモコン裏面の電池カバーを開け、電池を入れてください。＋と－の向きはリモコンに記載されています。



⚠注意 **・＋と－の向きに注意して正しく入れてください。**
・付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取替えください。

リモコンの使いかた

本リモコンを使うときは、リモコンの発光部を本体の受光部に向けます。
リモコンの使用可能位置については、右図を参照してください。



制限事項

本製品には以下の制限事項があります。

- **同時に接続し使用できる映像出力および音声出力は、1 系統のみです。**
- **ファイナライズされていない CD-R/RW ディスクを再生した場合、ディスクの時間情報 (再生時間など) が全表示されないことがあります。**
- **VR フォーマットで書き込まれた DVD-R/RW は再生できません。**
- **リージョン・コード「2」を含まない DVD ビデオディスクは再生できません。**
  本製品のリージョンコードは「2」に設定されています。変更することはできません。
- **NTSC 方式以外のテレビ方式で記録された DVD-Video ディスクは、映像が縦長に表示される場合があります。**
- **映像出力を家庭用テレビ以外の機器を経由して接続すると、再生映像が乱れる場合があります。**
  本製品はコピープロテクション機能を搭載しています。録画機能を搭載した機器を経由させると、コピープロテクション機能により再生映像が乱れることがあります。
- **ビデオ録画機能を内蔵した家庭用テレビに接続する場合、コピープロテクション機能により再生映像が乱れる場合があります。**
- **再生中は、テレビタイプの設定（アスペクト比の変更）を行えません。**
  テレビタイプの設定は、再生を停止してから行ってください。
- **プログレッシブスキャン出力機能は、本機の D4 端子または色差コンポーネント出力をプログレッシブスキャン対応テレビに接続した場合のみ利用可能です。**
  プログレッシブスキャンに非対応の家庭用テレビでは、映像が正しく表示されない場合があります。
- **DVD タイトルによっては、タイムサーチ機能、ズーム表示機能が利用できないことがあります。**
- **パソコンや LinkStation のデータを再生する場合は、本機の電源投入前にネットワークケーブルを接続する必要があります。**
  再生するファイルが保存された機器の電源を入れてから本製品の電源を入れてください。
- **ファイル名に 2 バイト文字（全角文字）が使用されている場合、ファイル名が正しく表示されない場合があります。**
  表示がおかしい場合は、半角英数字のファイル名に変更してください。
- **JPEG ファイルを再生する場合、ベースライン JPEG 以外のファイルは再生できません。**
- **インターリーブされていない AVI ファイルは、正常に再生することができない場合があります。**
- **FileSystem Revision が付加されていない CD/DVD メディア上のメディアファイルは認識できないことがあります。**
  WinCDR では、[設定]-[データ設定]-[ISO9660/UDF] タブ > [バージョン情報] のチェックを入れてライティングすることで回避できます。
- **DivX® 5.xx にて [Use Quarter Pixel][USE GMC] オプションを有効にしてエンコードされた映像ファイルは再生できません。**
- **ディスクに保存した映像ファイルでは、早送り、巻戻しが正常に行えないことがあります。**
- **PNG ファイルを再生する場合、ファイルによっては正常に再生できないことがあります。**

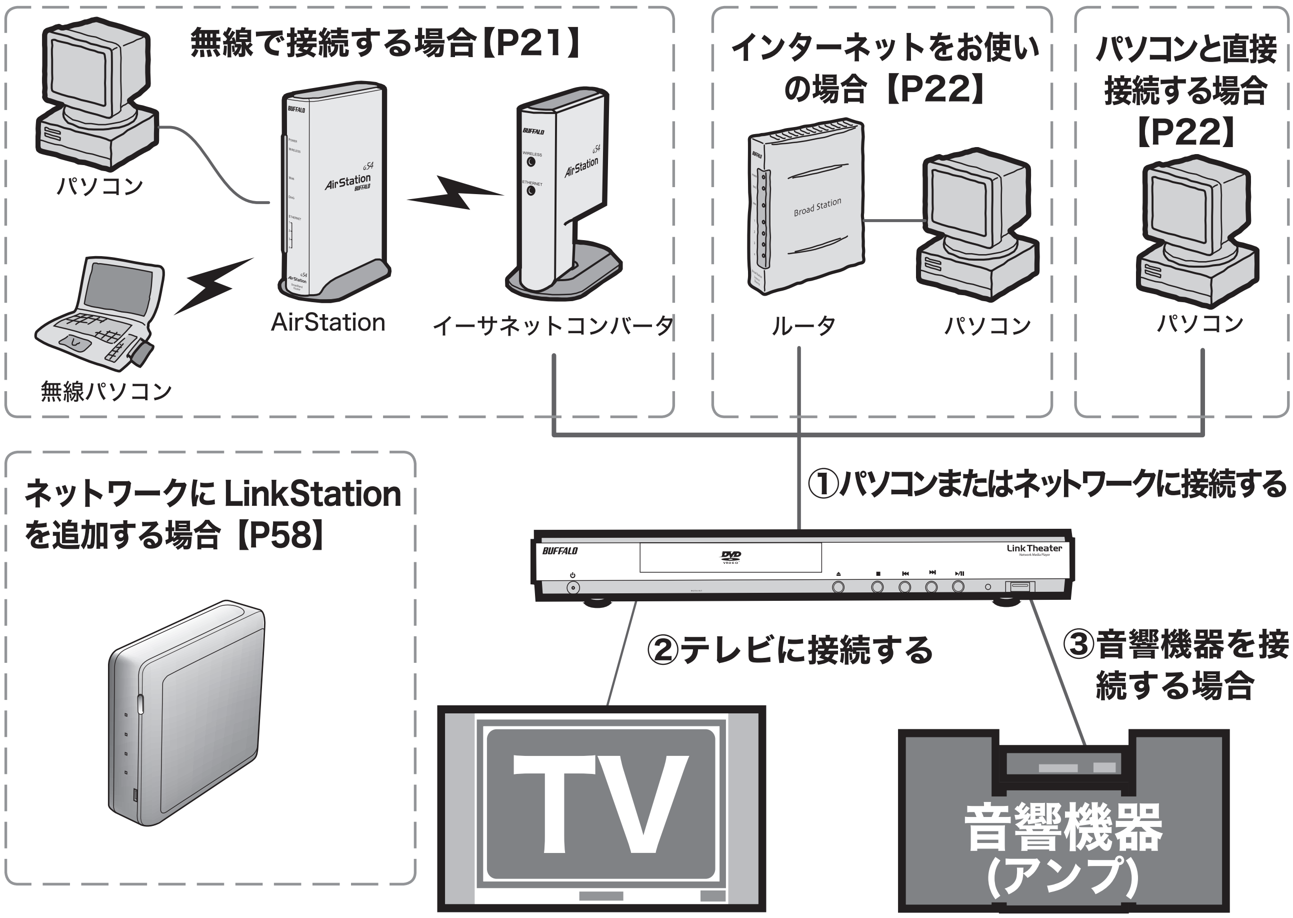
接続・準備

本製品の使用するために必要な準備、接続方法について説明しています。

接続・準備の手順

本製品の接続および準備は以下の手順で行ってください。

⚠注意　接続を行うときは、本製品を含め接続する全ての機器の電源を切ってから接続してください。



①本製品をパソコンまたはネットワークに接続する（P20）

▼

②本製品をテレビに接続する（P23）

▼

③本製品に音響機器を接続する場合（P25）

▼

④本製品に電源ケーブルを接続する（P25）

→

⑤パソコンに PCast Media Server をインストールする（P26）

▼

⑥本製品の電源を入れる（P29）

ネットワークに LinkStation を追加する場合は？

上記の手順を行った後、P58「LinkStation のデータを再生するには」を参照してください。

必要な機器

ネットワークに接続する方法は、お使いの環境によって異なります。そのため、お使いの環境によっては別途ご用意いただくものがあります。以下の表を参照してお使いの環境にあった機器をご用意ください。

⚠注意　別途LANケーブルをご用意される方へ

- **100Mbpsでネットワークを構築するときは、必ず付属のケーブルまたはカテゴリ5対応のLANケーブル（弊社製ETPケーブルなど）をお使いください。**
- **自作ケーブルの使用は、ネットワークが正常につながらない原因となります。市販のケーブルをご使用ください。**

START

本製品を無線で接続しますか？

はい →

イーサネットコンバータとAirStation™が必要です。
【「無線で接続する場合」（P21）へ】

イーサネットコンバータとAirStationは、54Mbpsまたは11Mbps対応のものが必要です。お持ちでない場合は、別途弊社製イーサネットコンバータおよびAirStationをご購入ください。なお、高画質な映像ファイルを再生する場合は、54Mbps対応製品を推奨します。

いいえ ↓

接続するパソコンをインターネットに接続していますか？

はい →

ルータが必要です。
【「インターネットをお使いの場合」(P22)へ】

本製品を接続するにはルータが必要です。ルータをお持ちでない（DHCPサーバがない）場合は、別途弊社製ルータをご購入ください。なお、お使いのモデムにルータが搭載されていることもありますのでご確認ください。

メモ　ルータとは
複数のパソコンやネットワーク機器（本製品を含む）を使用する場合に、各機器のネットワーク設定を自動で設定する機器です。

いいえ →

LANケーブル（クロス）が必要です。
【「パソコンと直接接続する場合（P22）へ】

パソコンをインターネットに接続していない場合はパソコンと直接接続します。市販のクロスケーブルが必要ですので別途ご用意ください。

本製品をパソコンまたはネットワークに接続する

無線で接続する場合

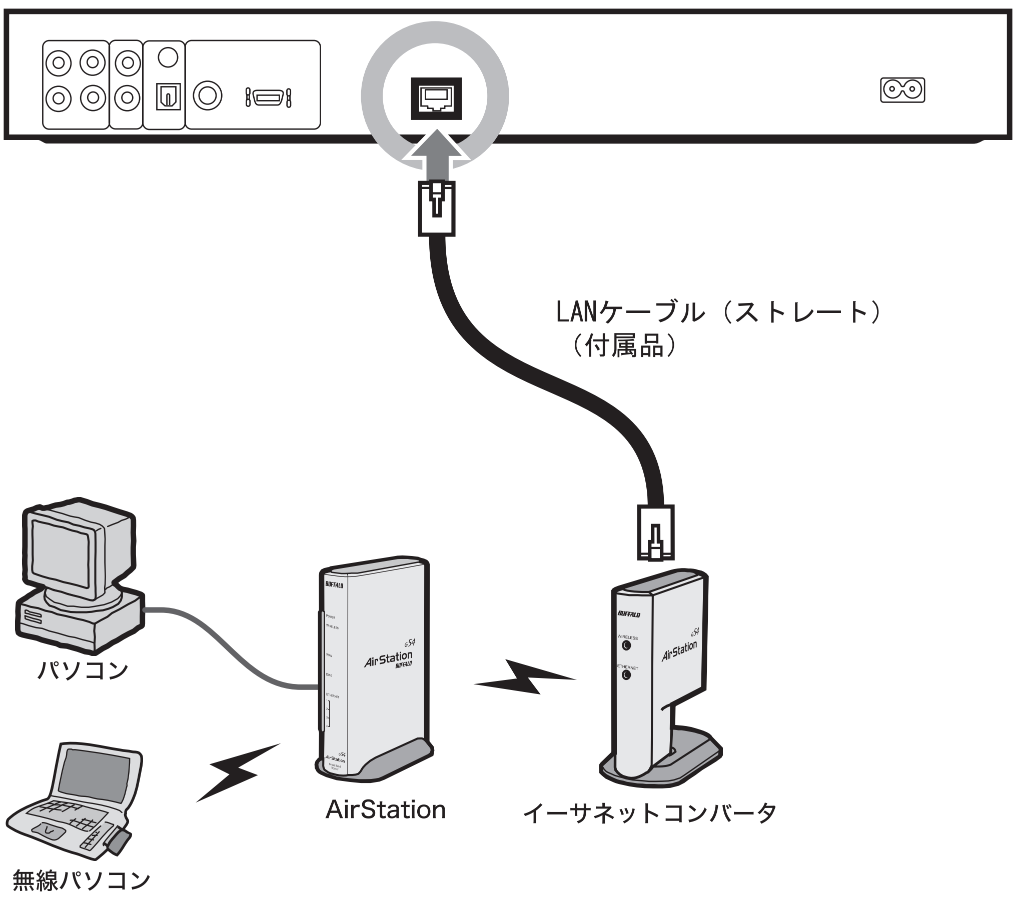
本製品を無線で接続する場合は、別売の弊社製イーサネットコンバータおよび AirStation（アクセスポイント）が必要です。以下の手順で接続してください。

メモ　イーサネットコンバータや AirStation は、54Mbps をお使いになることをお勧めします。11Mbps の場合、3Mbps 以上のファイルを再生するとコマ落ちや音飛びすることがあります。

1 54Mbps または 11Mbps 対応の弊社製イーサネットコンバータを設定します。

設定方法は、イーサネットコンバータのマニュアルを参照してください。

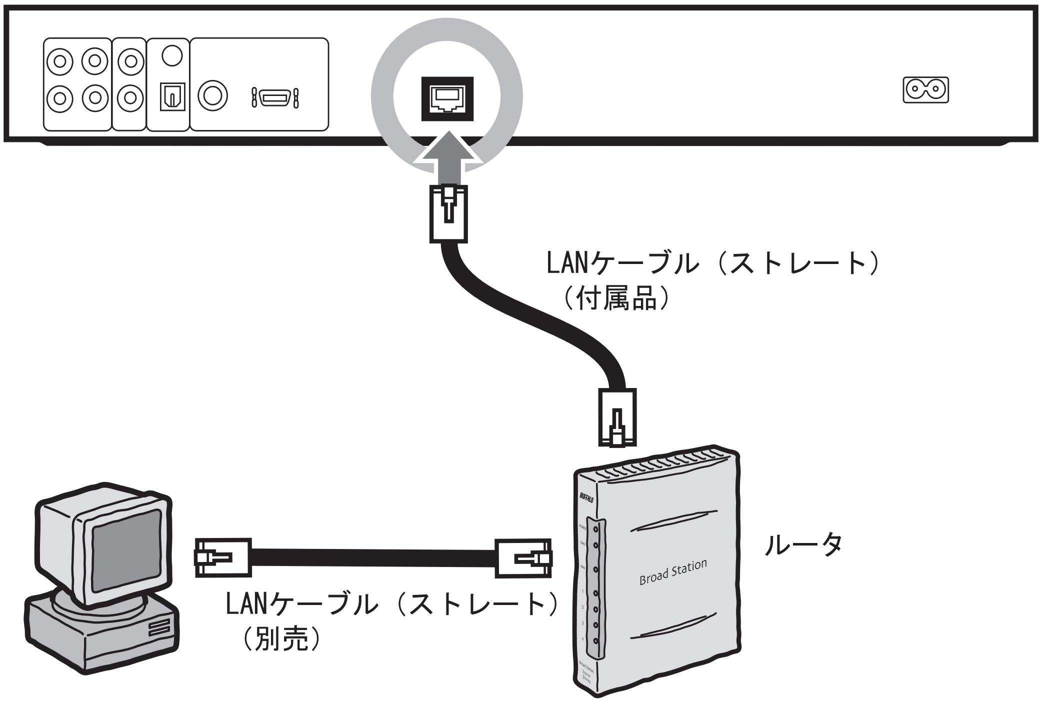
2 本製品とイーサネットコンバータを接続します。



次へ　本製品をテレビに接続します。【P23】

インターネットをお使いの場合

本製品をルータと接続します。



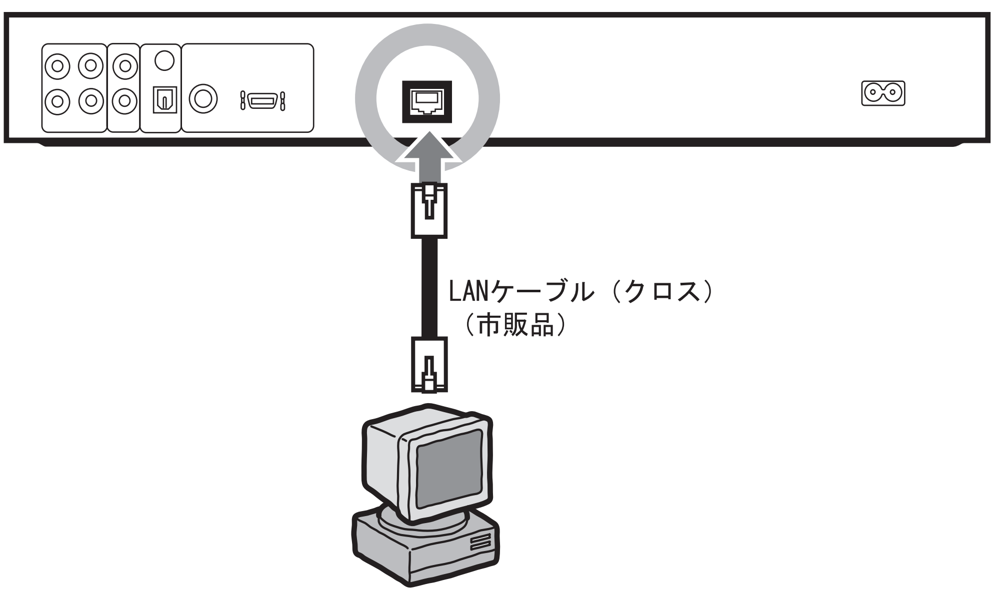
⚠注意 **お使いの環境にルータがない場合（DHCP サーバを使用していないとき）は、本製品のネットワーク設定を手動で行う必要があります。本製品の接続が完了したら、「ルータをお持ちでない方へ」（P54）を参照してネットワーク設定を行ってください。**

次へ **本製品をテレビに接続します。【P23】**

パソコンと直接接続する場合

パソコンと本製品を直接接続したい場合は、市販のクロスケーブルが必要です。以下のように接続してください。

⚠注意 **付属の LAN ケーブルはストレートケーブルです。クロスケーブルは別途ご用意ください。**



次へ **本製品をテレビに接続します。【P23】**

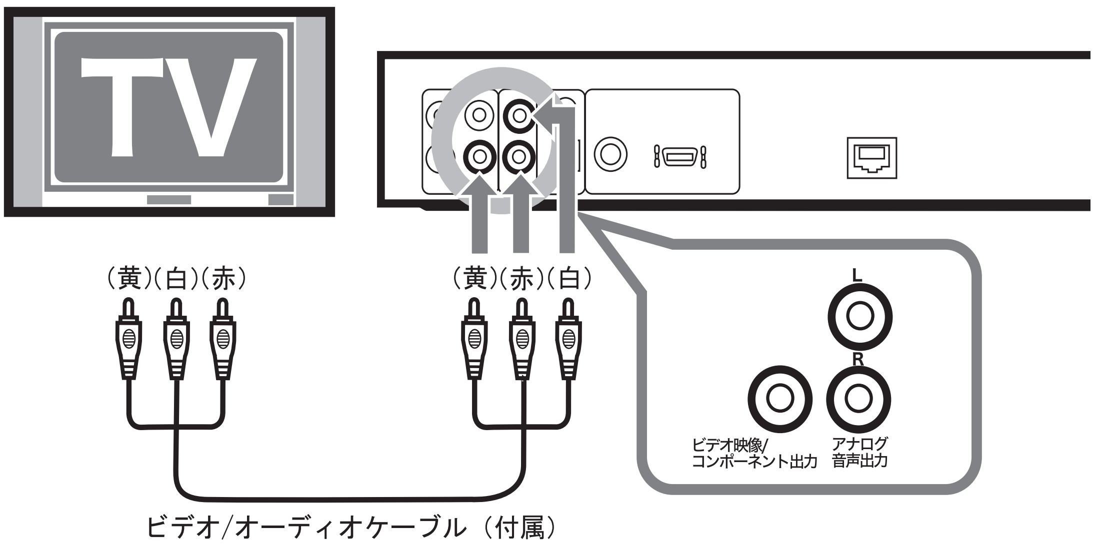
本製品をテレビに接続する

本製品をテレビに接続します。テレビにＳ映像入力端子やコンポーネント入力端子、Ｄ映像入力端子がある場合、それぞれの端子に接続するとより高品質の映像をご覧いただけます。

⚠注意 **本製品の映像出力端子を２系統以上接続（ビデオ出力端子と色差コンポーネント出力端子をどちらも接続するなど）しないでください。**

付属のビデオ / オーディオケーブルで接続

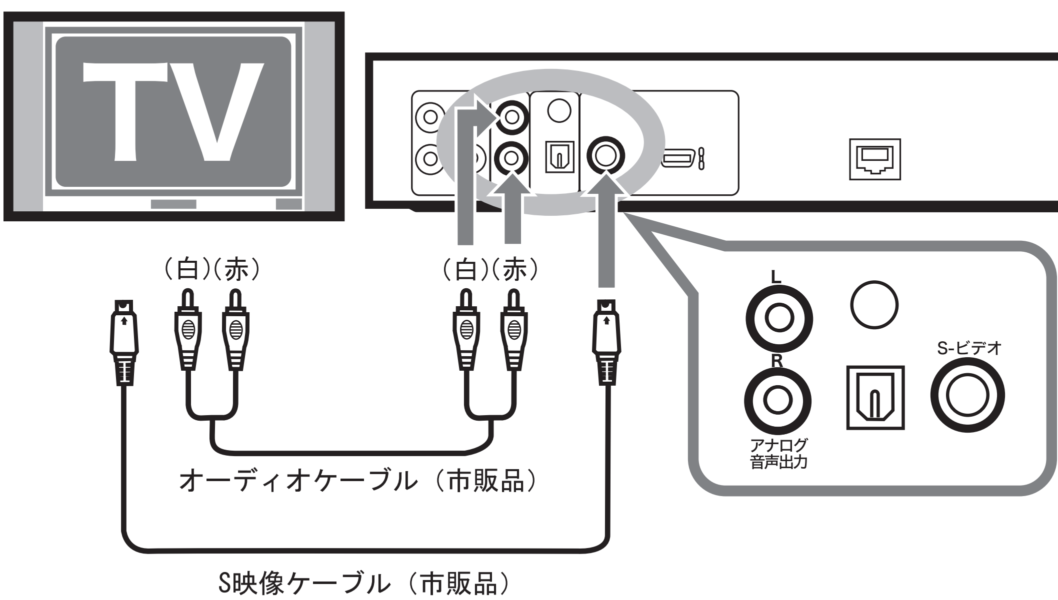
テレビ (ビデオ映像コンポーネント入力) に付属のビデオ / オーディオケーブルで本製品を接続します。



次へ **本製品に電源ケーブルを接続します。【P25】**

高品質の映像を楽しむ（Ｓ映像入力端子に接続）

お使いのテレビにＳ映像入力端子がある場合、付属のビデオ / オーディオケーブルで接続するよりもより鮮明な映像をお楽しみいただけます。なお、Ｓ映像入力端子に接続するには、市販のＳ映像ケーブルが必要です。



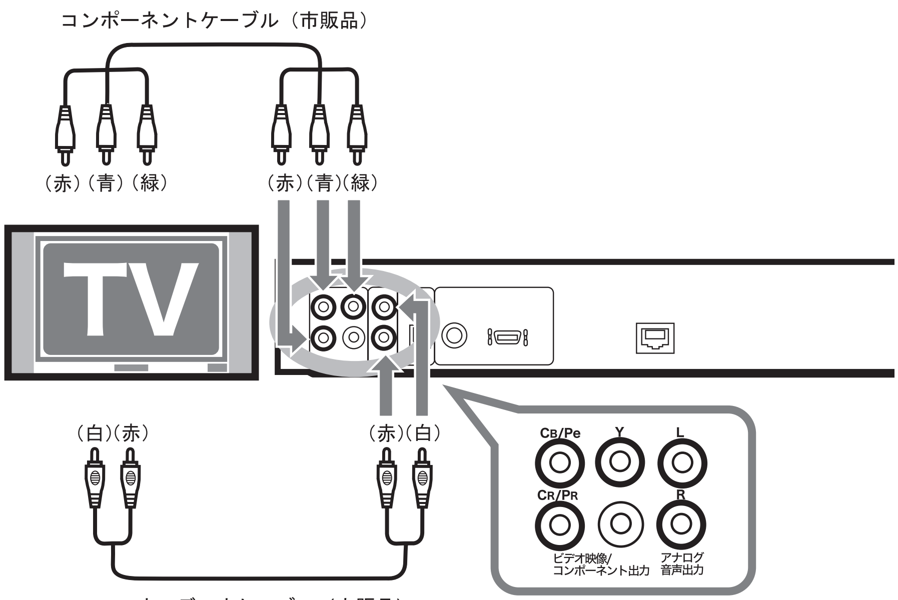
次へ **本製品に電源ケーブルを接続します。【P25】**

さらに高品質な映像を楽しむ（コンポーネントやＤ入力端子に接続）

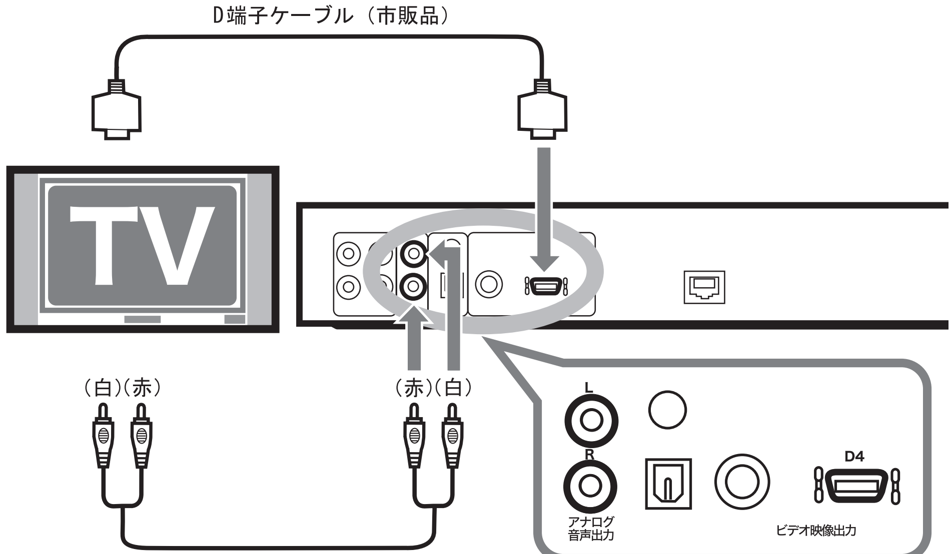
お使いのテレビにコンポーネント入力端子またはＤ入力端子がある場合、以下のように接続してください。
なお、コンポーネント入力端子およびＤ入力端子に接続するには、市販の専用ケーブルが必要です。

⚠注意　テレビと本製品の電源スイッチを ON にした後、リモコンのテレビモードボタンを押して表示モードを切り換えてください。出荷時設定では、[コンポジット /S-Video] モードになっているため画面に何も表示されません。

■コンポーネント入力端子に接続する



■ D4 端子に接続する

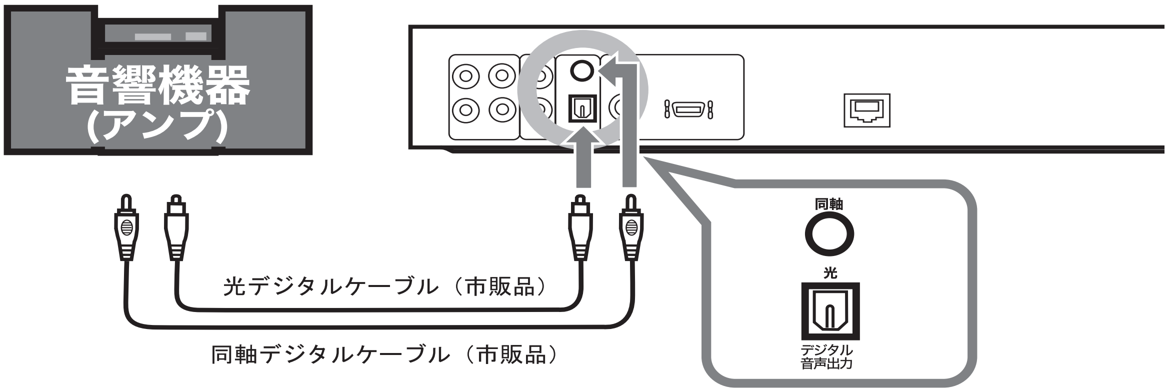


⚠注意　プログレッシブ再生映像を表示したい場合は、D2 以上の入力端子を持つテレビと接続してください。D1 の入力端子と接続してもプログレッシブ再生した映像は表示されません。

次へ　**本製品に電源ケーブルを接続します。【P25】**

本製品に音響機器を接続する場合

本製品の音声を音響機器（デコーダ付デジタルアンプなど）と接続する場合は、市販の光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブルで接続してください。接続する音響機器がドルビーデジタルや DTS などに対応している場合は、迫力ある音声で楽しむことができます。



⚠注意　**光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブルのどちらか一方を接続してください。同時に 2 系統接続しないでください。**

メモ　接続や準備が完了した後、本製品の設定画面で「オーディオ出力設定」を正しく設定してください（P47）。

次へ　**本製品に電源ケーブルを接続します。【P25】**

本製品に電源ケーブルを接続する

付属の電源ケーブルを本製品背面の電源入力端子とコンセントに接続します。

⚠注意
- **露つきにご注意ください。**
- **本製品やディスクに露つきが起きた状態で本製品を使用すると、ディスクや本製品を傷め故障の原因となります。寒いところから急に温かい部屋に移動させたり、急にまわりの温度が変わったときなど露つきが起こりやすくなります。そのようなときは、本製品にディスクが入っている場合は取り出し、電源を入れた状態で 1 ～ 2 時間待ってから使用してください。**

次へ　**パソコンにPCast Media Serverをインストールします。【P26】**

パソコンにPCast Media Serverをインストールする

本製品と接続するパソコン（再生するファイルを保存しているパソコン）にPCast Media Serverをインストールします。PCast Media Serverをインストールしたパソコンは、本製品で自動的に認識できるようになります。

⚠注意
- **ファイヤーウォール機能を持つソフトウェアをお使いの場合、ファイヤーウォール機能を無効にするか、UDPポート「1900」とTCPポート「8000」の使用を許可してください。設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。**
- **プロバイダから配布されるPPPoE接続ツール（フレッツ接続ツールなど）をパソコンにインストールしている場合には、アンインストールしてください。**
- **PC98-NXをお使いの場合は、PCast Media Serverをインストールする前に「CyberTrio-NX」を「アドバンスモード」に変更してください。詳しくは､パソコン本体のマニュアルを参照してください。**

メモ　本製品をDVDプレーヤーとしてのみ使用する(パソコンのデータを再生しない)場合、パソコンにPCast-MediaServerをインストールする必要はありません。

Windows

1 パソコンを起動します。

WindowsXP/2000をお使いの場合、コンピュータの管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

2 ユーティリティCDをパソコンにセットします。

しばらくすると「簡単セットアップ」が起動します

3 「PCast Media Serverのインストール」を選択し、［開始］をクリックします。

以下の画面が表示されない場合は、ユーティリティCD内の「Easysetup.exe」をダブルクリックしてください。



パソコンの画面

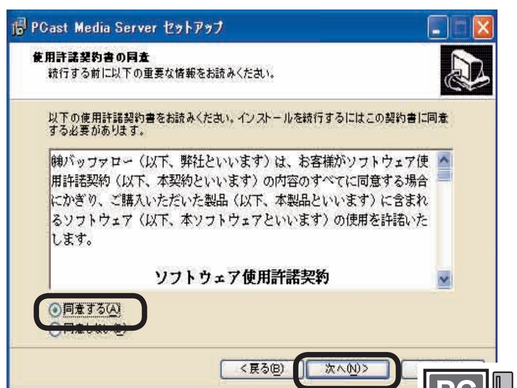
※本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのか分かるよう、パソコンテレビ画面に パソコンの画面 PC と案内しています。
※本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

4 ［次へ］をクリックします。



パソコンの画面

5 ［同意する］にチェックをつけ、［次へ］をクリックします。



パソコンの画面

6 [次へ] をクリックします。



パソコンの画面

7 インストール先を確認して [次へ] をクリックします。



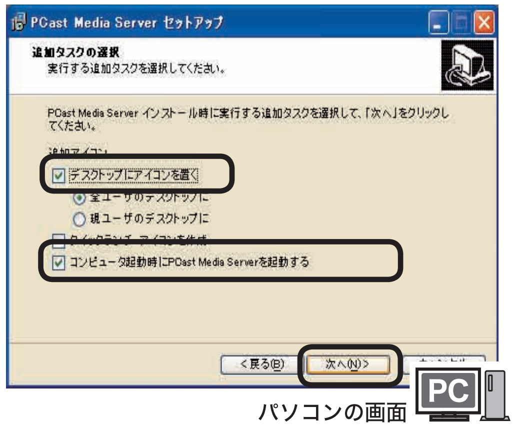
パソコンの画面

8 [次へ] をクリックします。



パソコンの画面

9 [デスクトップにアイコンを置く] および [コンピュータ起動時、自動的に PCast Media Server を起動する] にチェックをつけ、[次へ] をクリックします。



パソコンの画面

10 [インストール] をクリックします。



パソコンの画面

11 [完了] をクリックします。



パソコンの画面

以上でPCast Media Serverのインストールは完了です。PCast Media Server をインストールしたパソコンに保存されたファイルを本製品で再生することができます。

> 初期設定では「マイドキュメント（My Documents)」内の以下のフォルダにあるファイルを本製品で再生できるようになっています。
>
> ・映像（動画）ファイル：「マイビデオ（My Videos)」フォルダ
>
> ・音楽ファイル：「マイミュージック（My Music)」フォルダ
>
> ・写真ファイル：「マイピクチャ（My Pictures)」フォルダ
>
> 再生したいファイルが上記フォルダの中に無いときは、コピーまたは移動させてください。
>
> 再生するフォルダを変更したい場合や、追加したい場合は、「再生するフォルダを追加、変更する」（P37）を参照してください。

⚠注意 **お使いのパソコンによっては、PCast Media Server インストール時に「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されることがあります。**

そのようなときは、[ブロック解除] を選択してください。

[ブロックする][後で確認する] を選択してしまったときは、P69 を参照してブロックを解除してください。ブロックした状態では、本製品でパソコンを認識できません。

Mac OS X

1 パソコンを起動します。

2 ユーティリティ CD をパソコンにセットします。

3 マウントされたユーティリティ CD のアイコンをダブルクリックし、[MediaServerForPC]-[MACOSX] フォルダの中にある [pcastx-xx.dmg] をダブルクリックします。

※下線部はバージョン番号です。製品によって番号は異なります。

4 [PCast Media Server] アイコンをアプリケーションフォルダにドラッグ＆ドロップします。



パソコンの画面

以上で PCast Media Server のインストールは完了です。インストール後、アプリケーションフォルダ内の [PCast Media Server] アイコンをダブルクリックして、PCast Media Server を起動させてください。
パソコンを再起動させたときは、起動後にもう一度 [PCast Media Server] アイコンをダブルクリックして、PCast Media Server を起動させてください。

本製品の電源を入れる

本製品の接続と PCast Media Server のインストールが完了したら、本製品を起動してみましょう。

⚠注意　露つきにご注意ください。
本製品やディスクに露つきが起きた状態で本製品を使用すると、ディスクや本製品を傷め故障の原因となります。寒いところから急に温かい部屋に移動させたり、急にまわりの温度が変わったときなど露つきが起こりやすくなります。そのようなときは、本製品にディスクが入っている場合は取り出し、電源を入れた状態で 1 ～ 2 時間待ってから使用してください。

1 リモコンに電池を入れます。【P17】

2 PCast Media Server をインストールしたパソコンを起動します。

3 テレビの電源を入れます。

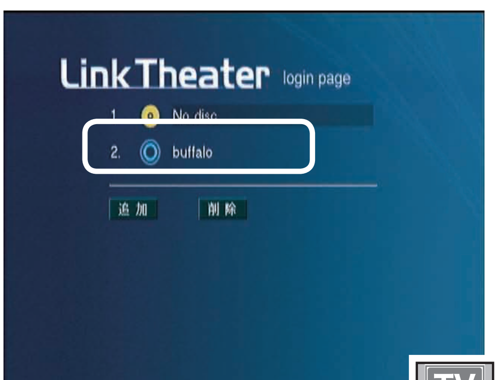
4 テレビの入力を本製品を接続した端子にあわせます。

5 本製品の電源を入れます。

リモコンまたは本製品の電源ボタンを押すと電源が入ります。

6 テレビに以下の画面が表示されます。PCast Media Server をインストールしたパソコンの名前が表示されていることを確認してください。

名前が表示されるまで 1 分程度かかることがあります。



テレビの画面 TV

※本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのか分かるよう、テレビ画面に テレビの画面 TV と案内しています。
※本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

PCast Media Server をインストールしたパソコンが表示されない場合

「困ったときは」の「本製品でパソコンが認識できない」(P66) を参照してしてください。

以上で本製品をお使いになることができるようになりました。

ディスクやファイルなどお好きな映像、音楽を再生してください。

・ディスクを再生する……P31
・DVD ビデオを再生する……P32
・USB ポートに接続した機器から再生する P33
・パソコンのデータを再生する……P34

使ってみよう

本製品の使いかたや、設定方法について説明しています。

再生できるディスクとファイルの種類

本製品で再生できるディスクおよびファイルの種類は、次の通りです。

読み取り可能なディスク		DVD-R/RW、DVD＋R/RW、DVD+R(2層)、DVD-ROM、CD-R/RW、CD-ROM
対応コンテンツ形式	ディスクコンテンツ（※2）	・DVD-Video（※1） ・ビデオCD ・スーパービデオCD ・オーディオCD（CD-DA）
	メディアコンテンツ	・MP3、WMA、AAC、Ogg、WAV（非圧縮）のいずれかで エンコードされたオーディオファイル ・JPEG、GIF、TIF、BMP、PNGのいずれかで保存／圧縮された画像ファイル ・DivX®Video(Ver3.11、4、5)、RMP4、XviD＋MP3/AC3のいずれかで エンコードされたAVIファイル ・Windows Media Video9形式でエンコードされた動画ファイル ・MPEG-1形式でエンコードされた動画ファイル ・MPEG-2形式でエンコードされた動画ファイル
対応動画フォーマット形式	映像部デジタル圧縮形式	・MPEG-2標準解像度（*.MPGファイル、m2pファイル） 最大解像度720x480、最大15Mbps(※3)、最大フレームレート30fps(プログレッシブ) ・MPEG-2高解像度（*.MPGファイル、m2pファイル） 最大解像度1920x1080、最大12Mbps(※3)、最大フレームレート30fps(インターレース) ・MPEG-1(*.MPGファイル、*.DATファイル) 最大解像度720x480、最大15Mbps(※3)、最大フレームレート30fps(プログレッシブ) ・MPEG-4(*.AVIファイル) 最大解像度1280x720 DivX®Video時　最大8Mbps(※3)、最大フレームレート30fps(プログレッシブ) XviD+MP3/AC3時　最大8Mbps(※3)、最大フレームレート30fps(プログレッシブ) RMP4時　最大5Mbps(※3)、最大フレームレート30fps(プログレッシブ) ・Windows Media Video9(*.WMVファイル) 最大解像度1920x1080 最大8Mbps(※3)、最大フレームレート30fps(プログレッシブ)(※4)
	音声部デジタル圧縮	・Dolby Digital（AC-3）　マルチチャンネル（※5） ・DTS　マルチチャンネル（※5） ・MPEG-1 Audio Layer1　2チャンネル ・MPEG-1 Audio Layer2　2チャンネル ・MPEG-1 Audio Layer3　2チャンネル ・Windows Media Audio9　2チャンネル
	音声部デジタル非圧縮	・リニアPCM 2チャンネル （S/PDIF）16/20/24bit、44.1/48kHz

※1：VRフォーマット形式で記録されたディスクは非対応です。
※2：お客様にて作成されたコンテンツの場合、メディアの品質やライティングソフトなどの影響により、本製品で正常に認識できないことがあります。
※3：本製品を11Mbpsの無線LANで接続した場合、またはUSB1.1の機器から再生した場合、3Mbps以上のファイルではコマ落ちや音とびが発生することがあります。
※4：インターレース設定で作成されたファイルには非対応です。
※5：デジタル出力のみ対応です。デコード機能はありません。

対応音声フォーマット形式	･CD-DA ･リニアPCM（*.WAV） ･Ogg Vorbis（*.OGG） ･MPEG-1 Audio Layer3（*.MP3） ･Advanced Audio Cording（*.M4A、*.AAC） ･Windows Media Audio（*.WMA）（※6）（※7）
対応画像フォーマット	･JPEG（※8） ･GIF（※9） ･TIFF（※9） ･BMP（※9） ･PNG（※9） 最大解像度 3504×2336
接続可能なUSB機器	マスストレージクラスに対応した以下のUSB機器（※10） ハードディスク、フラッシュメモリ、カードリーダ、デジタルカメラ

※6：Windows Media Audio Losslessで録音されたWMAファイルには非対応です。
※7：著作権保護されたファイルは再生できません。
※8：ベースラインJPEGのみ使用できます。
※9：パソコン内のファイルのみ表示できます。ディスクに保存されたファイルやLink Station内のファイルは表示できません。
※10：FATまたはFAT32でフォーマットされた機器のみ（NTFSには対応していません）対応しています。ただし、お使いのUSB機器によっては正常に認識できなことがあります。1フォルダ内の最大ファイル数は400個まで再生可能です。

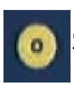
ディスクを再生する

本製品でディスクを再生する場合は、以下の手順で行ってください。

1 本製品の電源を入れます。

2 [開 / 閉] ボタンを押してトレイを開きます。

3 ディスクをトレイにセットして [開 / 閉] ボタンを押します。

4  **を選択してリモコンの [選択・再生] ボタンを押します。**

自動再生を設定している場合は、自動的に再生されます。



テレビの画面

5 再生したいジャンルを選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。

DVD ビデオやビデオ CD、音楽 CD の場合は以下の画面は表示されず、自動的に再生されます。



テレビの画面

6 再生したいファイルやフォルダを選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。

表示された全てのファイルを再生したい場合

[リピート] ボタンを押します。

以上でディスクの再生は完了です。

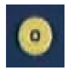
DVD ビデオを再生する

本製品でディスクを再生する場合は、以下の手順で行ってください。

1　本製品の電源を入れます。

2　[開 / 閉] ボタンを押してトレイを開きます。

3　DVD ビデオをトレイにセットして [開 / 閉] ボタンを押します。自動的に DVD ビデオの再生が開始されます。

自動的に再生されないときは、テレビ画面で  を選択してリモコンの [選択・再生] ボタンを押してください。

以上で DVD ビデオの再生は完了です。

DVD ビデオ再生時の操作

ここでは DVD ビデオの再生時に操作できる機能を紹介しています。

⚠注意　DVD によっては、操作に制限のある場合があります。DVD ディスクの機能や操作については、ディスクに付属のマニュアルを参照してください。制限されている操作のボタンを押した場合､画面左上に「無効」と表示されます。

■チャプター（トラック）を頭出し再生したい

再生中に [前] ボタンまたは [次] ボタンを押します。

■早送り、巻戻ししたい

再生中に［早送り］ボタンまたは［巻戻し］ボタンを押します。ボタンを押すたびに早送り、巻戻しの速度を調節できます。
ふつうの再生に戻すときは [再生] ボタンを押します。

■消音 (ミュート) したい

［消音］ボタンを押します。

■一時停止したい

［一時停止 / コマ送り］ボタンを押します。
ふつうの再生に戻すときは､[再生] ボタンを押します。

■コマ送りしたい

［一時停止 / コマ送り］ボタンを押します。
ボタンを押すたび静止画をひとコマずつ表示します
ふつうの再生に戻すときは､[再生] ボタンを押します。

■ゆっくり（スロー）再生したい

［スロー］ボタンを押します。
ボタンを押すたびにスローの速度が変わります。
ふつうの再生に戻すときは [再生]ボタンを押します。

■音声を切り替えたい

複数の音声を記録している DVD では音声言語を切り替えることができます。
再生中に［音声切換］ボタンを押します。

■字幕を切り替えたい

字幕が記録されている DVD では、字幕に表示される言語を切り替えたり、表示しないようにすることができます。
再生中に［字幕］ボタンを押してください。
押すたびに字幕の表示を変更します。

■ズームしたい

再生中に［ズーム］ボタンを押します。
ボタンを押すたびにズームの倍率を変更できます。

■アングルを切り替える

複数のアングル（角度）の映像が保存された DVD の場合は、アングルを変更できます。
［アングル］ボタンを押してください。

■リピートしたい

同じチャプターやタイトルを繰り返し再生することができます。
［リピート］ボタンを押してください。
ボタンを押すたびに、チャプターリピート→タイトルリピート→リピート OFF の順に切り替わります。

■好きな部分だけをリピートしたい（リピート A-B）

開始位置（A）と終了位置（B）を指定して繰り返し再生することができます。

①再生中に､繰り返しをはじめたい位置で [A-B] ボタンを押します。
　開始位置 (A) を設定しました。

②繰り返しを終わりたい位置でもう一度［A-B］ボタンを押します。
　終了位置（B）を設定しました。

以後は開始位置から終了位置まで繰り返し再生します。リピートを解除するときは、再度［A-B］ボタンを押してください。

■再生する時間やチャプターを指定したい

お好みの時間やチャプターから再生できます。

①［サーチ］ボタンを押します

②｢タイム｣または｢チャプタ｣にカーソルを合わせ､数字ボタンでお好みの時間またはチャプターを指定します。

■トップメニューを表示する

[トップメニュー] ボタンを押します。

■チャプターメニューを表示する

[メニュー] ボタンを押します。

USB ポートに接続した機器から再生する

本製品でディスクを再生する場合は、以下の手順で行ってください。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品の USB ポートに USB ハードディスクまたは USB フラッシュメモリを接続します。

3 正常に認識されると、ドライブアイコンが表示されます。



テレビの画面

4 追加されたドライブアイコンを選択し､リモコンの [選択･再生] ボタンを押します。

5 再生したいジャンルを選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。



テレビの画面

6 再生したいファイルやフォルダを選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。

表示された全てのファイルを再生したい場合

[リピート] ボタンを押します。

以上でディスクの再生は完了です。

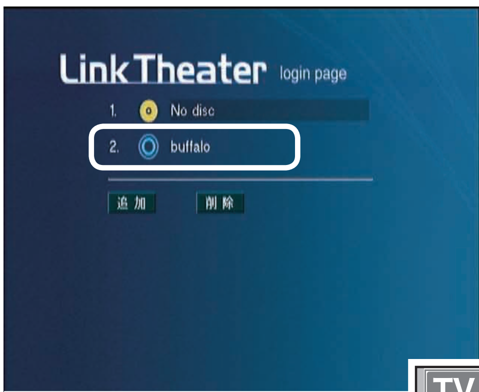
パソコンのデータを再生する

本製品で、PCast Media Serverをインストールしたパソコン内のファイルを再生することができます。映像ファイル、音楽ファイル、写真ファイルによって再生方法が異なります。

映像ファイルを再生する

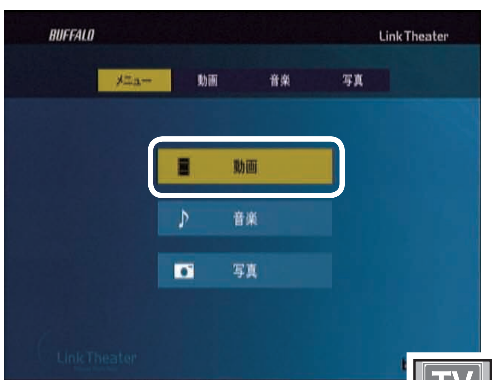
メモ　初期設定では、マイ ビデオ (My Videos) 内の映像ファイルを再生できるように設定されています。再生したいファイルがマイ ビデオフォルダにない場合は、再生したいファイルをマイ ビデオフォルダに移動するかPCast Media Serverの設定を変更してください (P37)。

1 **再生したい映像が保存されているパソコンを選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。**



テレビの画面　TV

2 **「動画」を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。**



テレビの画面　TV

3 **再生したいファイルやフォルダを選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。**



テレビの画面　TV

表示されている全てのファイルを再生したい場合

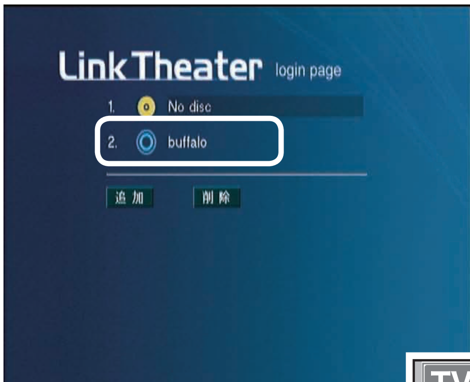
上の画面で［リピート］ボタンを押します。

以上で映像ファイルの再生は完了です。選択した映像ファイルが再生されます。

音楽ファイルを再生する

メモ　初期設定では、マイ ミュージック（My Music）内の映像ファイルを再生できるように設定されています。再生したいファイルがマイ ミュージックフォルダにない場合は、再生したいファイルをマイ ミュージックフォルダに移動するかPCast Media Server の設定を変更してください (P37)。

1 再生したい音楽が保存されているパソコンを選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。



テレビの画面　TV

2 「音楽」を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。



テレビの画面　TV

3 再生したいファイルやフォルダを選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。



テレビの画面　TV

表示されている全てのファイルを再生したい場合

上の画面で［リピート］ボタンを押します。

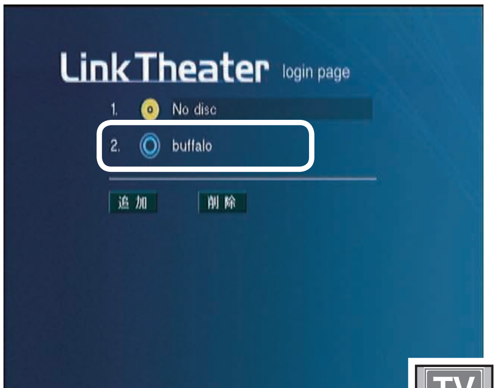
以上で音楽ファイルの再生は完了です。選択した音楽ファイルが再生されます。

メモ
- 音楽再生時にお好みの写真データを表示させることができます。詳しくは、「音楽ファイルを確認する」(P43) を参照してください。
- iTunes をお使いの場合、P51 の設定メニューで［iTunes をデフォルトライブラリにします］にチェックを入れることで、iTunes で録音した音楽ファイルを再生できます。

写真ファイルを再生する

メモ　初期設定では、マイ ピクチャ（My Pictures）内の映像ファイルを再生できるように設定されています。再生したいファイルがマイ ピクチャフォルダにない場合は、再生したいファイルをマイ ピクチャフォルダに移動するか PCast Media Server の設定を変更してください(P37)。

1 表示したいファイルが保存されているパソコンを選択し、リモコンの[選択･再生]ボタンを押します。



テレビの画面　TV

2 「写真」を選択し､リモコンの[選択･再生］ボタンを押します。



テレビの画面　TV

3 表示したいファイルやフォルダを選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。



テレビの画面　TV

表示されている全てのファイルをスライドショー表示したい場合

上の画面で [リピート] ボタンを押します。

以上で写真ファイルの再生は完了です。選択した写真ファイルが表示されます。

メモ　写真表示時にお好みの音楽を再生させることができます。詳しくは「写真ファイルを確認する」（P43）を参照してください。

再生するフォルダを追加、変更する

本製品で再生するファイルを保存するフォルダを指定できます。ここで指定したフォルダのファイルを本製品で再生できます。

フォルダを変更したい

本製品で再生するフォルダを変更します。ここで指定したフォルダにあるファイル（サブフォルダのファイルも含む）を本製品から再生できるようになります。

1 設定を変更したいパソコンでPCast Media Server を起動します。

PCast Media Server を起動するには、デスクトップにある PCast Media Server をダブルクリックします。

「PCast Media Server がすでに起動しています」と表示された場合

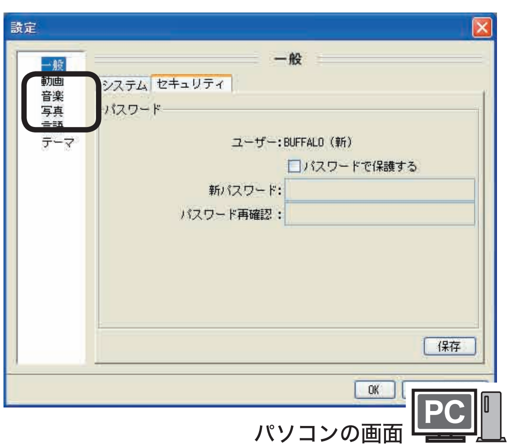
[了解] をクリックします

2 ［編集］－［設定］を選択します。



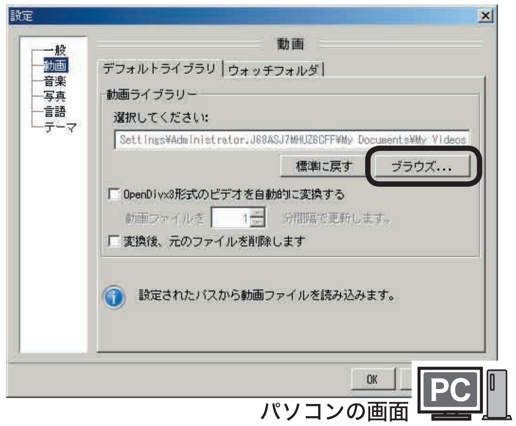
パソコンの画面

3 ［動画］、［音楽］、［写真］から設定したいジャンルを選択します。



パソコンの画面

4 ［ブラウズ］をクリックして、本製品で再生したいフォルダを選択します。



パソコンの画面

メモ ［標準に戻す］をクリックすると以下のフォルダ（初期設定）に設定されます。

・動画
「マイドキュメント（My Documents）」フォルダ内の「マイビデオ（My Videos）」

・音楽
「マイドキュメント（My Documents）」フォルダ内の「マイミュージック（My Music）」

・写真
「マイドキュメント（My Documents）」フォルダ内の「マイピクチャ（My Pictures）」

以上でフォルダの変更は完了です。

フォルダを複数追加したい(動画、音楽のみ)

本製品で再生したいフォルダが２つ以上ある場合は、ウォッチフォルダを設定します。ウォッチフォルダに設定したフォルダは、本製品で再生できるようになります。以下の手順で設定してください。

1 設定を変更したいパソコンでPCast Media Server を起動します。

PCast Media Server を起動するには、デスクトップにある  をダブルクリックします。

「PCast Media Server がすでに起動しています」と表示された場合

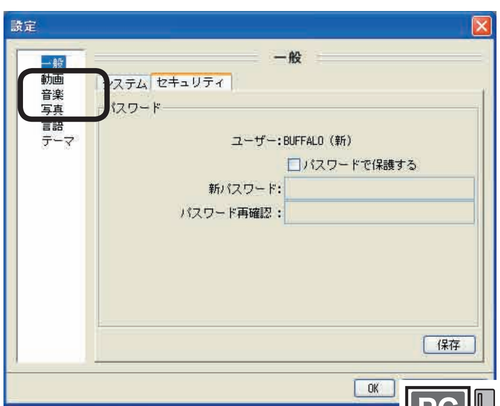
[了解] をクリックします。

2 ［編集］－［設定］を選択します。



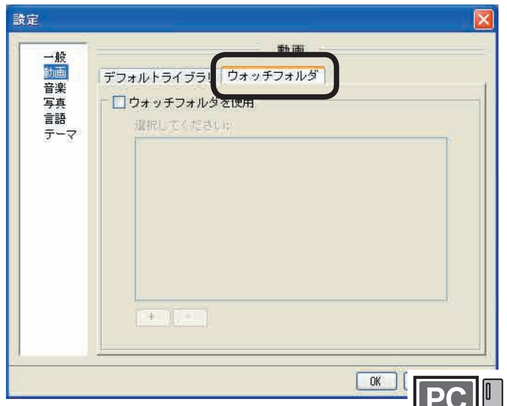
パソコンの画面

3 ［動画］、［音楽］から設定したいジャンルを選択します。



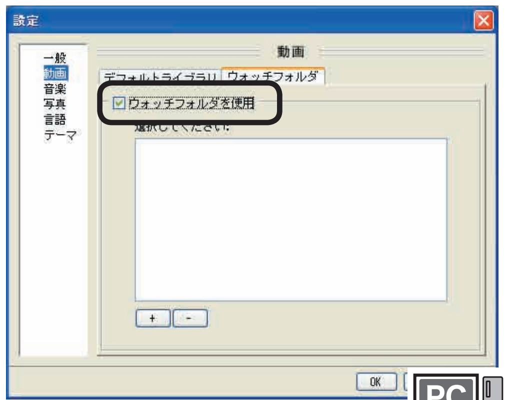
パソコンの画面

4 ［ウォッチフォルダ］タブをクリックします。



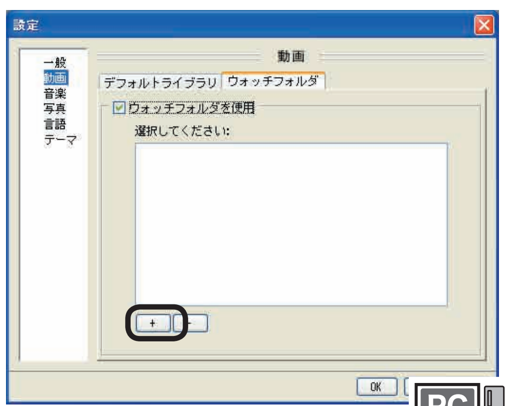
パソコンの画面

5 ［ウォッチフォルダを使用］にチェックをつけます。



パソコンの画面

6 ［＋］をクリックして、追加したいフォルダを選択します。



パソコンの画面

以上でフォルダの追加は完了です。

パソコンにパスワードを設定する

パソコンにパスワードを設定できます。パスワードを設定すると、本製品からパソコンにアクセスするときにパスワードが必要となります。

⚠注意　本製品からパスワードを設定したパソコンにアクセスする場合、パスワードの入力画面が表示されます。このパスワードを解除すると、本製品の電源が入っている間は何度でもアクセスできるようになります。再度パスワードをかけたい場合は、本製品の電源を一度お切りください。

1 設定を変更したいパソコンでPCast Media Server を起動します。

PCast Media Server を起動するには、デスクトップにある 

をダブルクリックします。

「PCast Media Server がすでに起動しています」と表示された場合

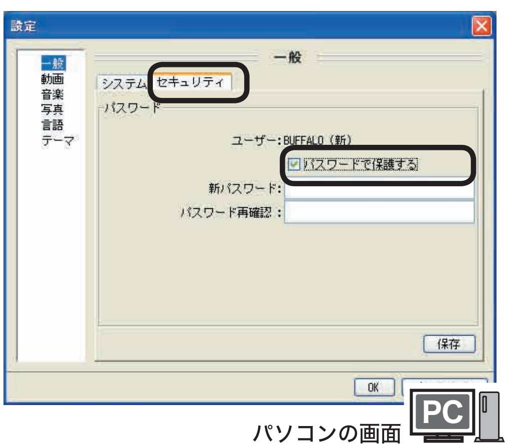
[了解] をクリックします。

2 [編集] − [設定] を選択します。



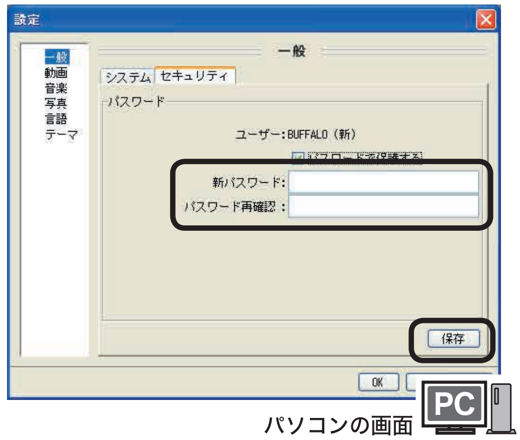
パソコンの画面

3 [セキュリティ] タブ内の [パスワードで保護する] にチェックをつけます。



パソコンの画面

4 「新パスワード」と「パスワード再確認」に設定するパスワードを入力し、[保存] をクリックします。



パソコンの画面

5 [了解] をクリックします。

6 [OK] をクリックします。

以上でパスワードの設定は完了です。
本製品の操作画面でパスワードを設定したパソコンを選択すると、パスワードが要求されるようになります。

パソコンを追加、削除する

本製品と通信する（再生するファイルを保存した）パソコンを追加、削除することができます。

パソコンを追加する

以下の手順でパソコンを追加します。

1 追加したいパソコンにPCast Media Server をインストールします。

2 本製品の電源を入れます。

以上で完了です。
PCast Media Server をインストールしたパソコンは、自動的に本製品で認識します。

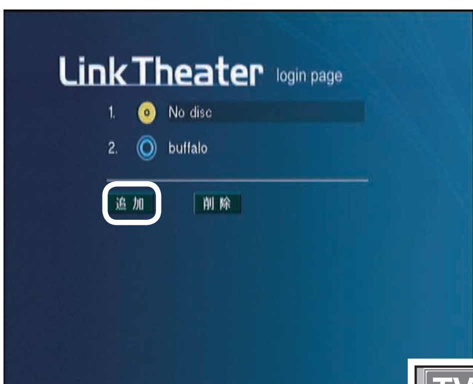
■上記の手順でパソコンが追加できない場合

上記の手順でパソコンが追加できない場合は、以下の手順でパソコンを追加してください。

1 追加したいパソコンにPCast Media Server をインストールします。

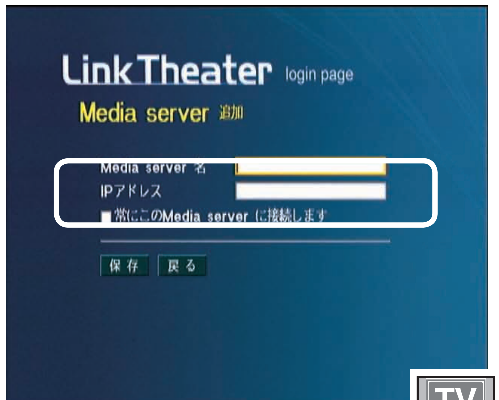
2 本製品の電源を入れます。

3 [追加]を選択しリモコンの[選択・再生］ボタンを押します。



テレビの画面 TV

4 「Media Server 名」に追加したいパソコンの名称を､「IP アドレス」に追加したいパソコンの IP アドレスを入力します。



テレビの画面 TV

メモ　IP アドレスの後に、「：」を付けて数字を記述することで、ポート番号の指定が可能です (通常は指定する必要はありません)。
例：サーバーの IP アドレス「192.168.11.3」でポート番号 8888 番のとき
192.168.11.3:8888

5 [保存] を選択し､リモコンの[選択・再生］ボタンを押します。

以上で完了です。
前の画面に戻るときは [戻る] を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。

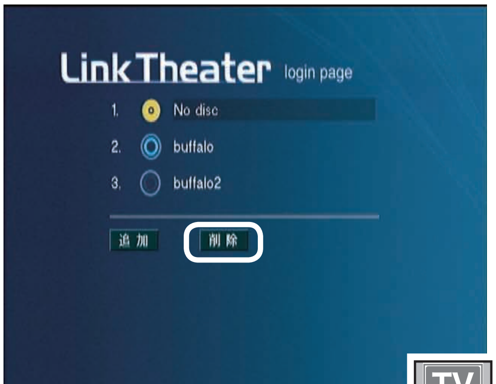
Mac OS X をお使いの場合、以下のフォルダから再生します。変更 / 追加はできません。
・動画
[ユーザー]-[ユーザー名]-[ムービー] フォルダ
・音楽
[ユーザー]-[ユーザー名]-[ミュージック] フォルダ
・写真
[ユーザー]-[ユーザー名]-[ピクチャ] フォルダ
※下線部はログインしているユーザー名です。

パソコンを削除する

1 削除するパソコンにインストールされている PCast Media Server をアンインストールします。

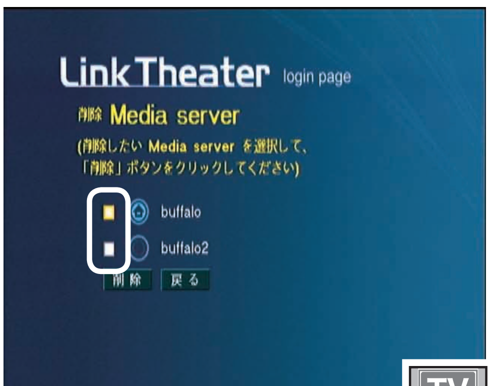
2 本製品の電源を入れます。

3 [削除] を選択し、リモコンの[選択・再生］ボタンを押します。



テレビの画面 TV

4 削除したいパソコンを選択し、［×］を付けます。



テレビの画面 TV

5 [削除] を選択し、を押します。

以上でパソコンの削除は完了です。
前の画面に戻るときは [戻る] を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。

再生できるファイルをパソコンで確認する

ここでは、本製品で再生できるファイルをパソコンで確認する方法を説明します。ファイルの確認には PCast Media Server を使用します。
また、PCast Media Server では、音楽再生時に表示する写真データや、スライドショー時に流れる音楽を設定できます。

PCast Media Server を起動する

1 デスクトップにある  アイコンをダブルクリックします。

2 以下の画面が表示されます。



パソコンの画面

メモ 「PCast Media Server がすでに起動しています」と表示された場合は、[了解] をクリックしてください。

ビデオ (動画）ファイルを確認する

本製品で再生できるビデオファイルを確認できます。

1 [ビデオ] をクリックします。



パソコンの画面

2 本製品で再生できるビデオファイルが表示されます。



パソコンの画面

注意 赤文字で表示されるファイルについて
赤文字で表示されたファイルは、DivX® 3.11 にて作成されたファイル、または MS-MPEG4 形式のファイルです。ファイルによっては再生できないことがあります。その場合、[Open Divx3 ファイルを変換] をクリックすると再生できるようになることがあります。なお、再生できるファイルは変換しないでください。変換すると再生ができなくなることがあります。変換を行うと元に戻せませんので、バックアップを作成することをお勧めします。

メモ
- 初期設定では「マイドキュメント（My Documents)」フォルダ内の「マイビデオ（My Videos)」に保存されているビデオデータが表示されます。再生できるフォルダを変更したい場合には、「再生するフォルダを追加、変更する」（P37）を参照してください。
- [映画をランダムに再生する] をクリックしてチェックマークをいれるとフォルダ内のビデオファイルをランダムに再生します。

音楽ファイルを確認する

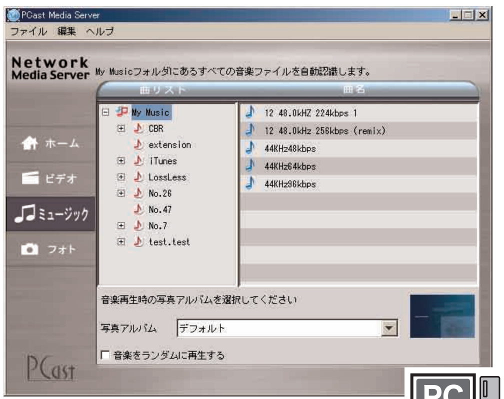
本製品で再生できる音楽ファイルを確認できます。また、本製品で音楽ファイルを再生した場合に表示される写真データの設定ができます。

1 [ミュージック] をクリックします。



パソコンの画面

2 本製品で再生できる音楽ファイルが表示されます。



パソコンの画面

音楽再生中にお好みの写真データを表示させたい場合は、画面下の [写真アルバム] にお好みの写真が保存してあるフォルダを選択してください。ここで選択したフォルダの写真ファイルが音楽再生中に表示されます。

メモ
- 初期設定では「マイドキュメント（My Documents)」フォルダ内の「マイミュージック（My Music)」に保存されているミュージックデータが表示されます。再生できるフォルダを変更したい場合には、「再生するフォルダを追加、変更する」(P37）を参照してください。
- 写真ファイルをスライド表示中に、お好みの音楽を再生したい場合、画面下の [プレイリスト] から音楽ファイルが保存してあるフォルダを選択してください。ここで指定したフォルダの音楽ファイルがスライド表示中に再生されます。
- [音楽をランダムに再生する] をクリックしてチェックマークをいれるとフォルダ内の音楽ファイルをランダムに再生します。

写真ファイルを確認する

本製品で表示できる写真ファイルを確認できます。また、本製品で写真ファイルを表示した場合に再生される音楽データの設定ができます。

1 [フォト] をクリックします。



パソコンの画面

2 本製品で再生できる写真ファイルが表示されます。

スライドショーの表示間隔を設定したい場合は、画面右下の「スライドショーを＊秒表示します」の＊部分の数字を変更してください。



パソコンの画面

写真ファイルを表示中にお好みの音楽を再生したい場合は、画面下の [プレイリスト] にお好みの写真が保存してあるフォルダを選択してください。ここで選択したフォルダの写真ファイルが音楽再生中に表示されます。

メモ
- 初期設定では「マイドキュメント（My Documents)」フォルダ内の「マイピクチャ（My Pictures)」に保存されているフォトデータが表示されます。表示するフォルダを変更したい場合には、「再生するフォルダを追加、変更する」(P37）を参照してください。
- [スライドをランダムに再生する] をクリックしてチェックマークをいれるとフォルダ内の音楽ファイルをランダムに再生します。

DLNA 対応メディアサーバのデータを再生する

DLNA(Digital Living Network Alliance) について

DLNA（デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス）は、デジタル機器 (パソコン・家電・モバイル機器など) の相互接続環境を実現するために業界標準技術の製品設計ガイドライン「ホーム・ネットワーク・デバイス・インターオペラビリティ・ガイドライン」を定めています。

本製品は、DLNA 対応メディアサーバ (弊社製 LinkStation HS-DGL シリーズなど) のデータを再生することができます。
LinkTheater のトップ画面で、DLNA 対応メディアサーバを選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P34「パソコンのデータを再生する」と同様です。

DLNA 対応メディアサーバのデータを再生するには、メディアサーバの設定画面でメディアサーバ機能を有効にしてください。設定方法については、メディアサーバのマニュアルをご参照ください。

Windows Media Connect サーバのデータを再生する

Windows Media Connect について

WindowsXP で Microsoft Windows Media Connect をインストールすると、パソコンに保存している音楽、写真、ビデオを、UPnP プロトコルを使用して本製品で再生することができるようになります。
Windows Mdedia Connect は、Windows Update([カスタムインストール]-[ソフトウェア用の更新プログラムを追加で選択]) よりインストールすることができます。

本製品は、Windows Media Connect がインストールされた WindowsXP パソコンのデータを再生することができます。
LinkTheater のトップ画面で、Windows Media Connect サーバを選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P34「パソコンのデータを再生する」と同様です。

詳細設定

本製品の詳しい設定のしかたについて説明しています。

本製品の詳細設定

本製品の詳細設定を説明します。

詳細設定画面を表示する

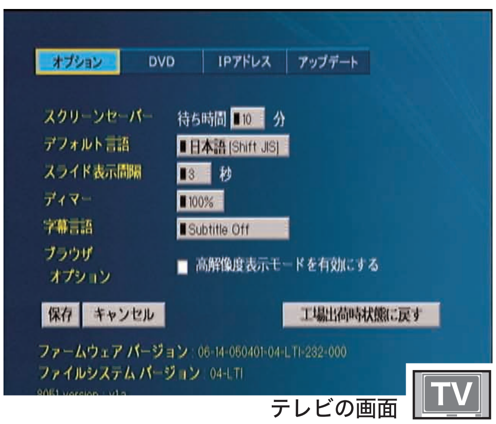
本製品の詳細設定は以下の手順で起動します。

1 本製品またはリモコンの [電源] ボタンを押して本製品を起動します。



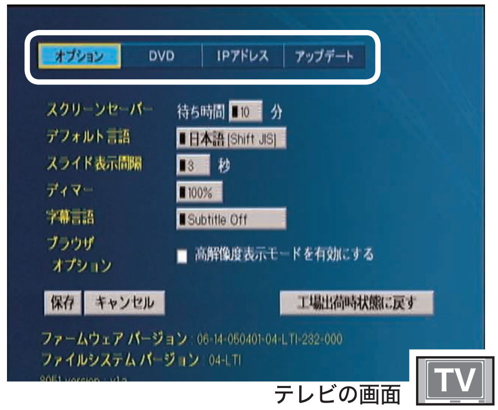
テレビの画面

2 リモコンの[設定]ボタンを押します。



テレビの画面

3 画面上のメニューを選択してリモコンの [選択・再生] ボタンを押すと、設定項目を変更します。

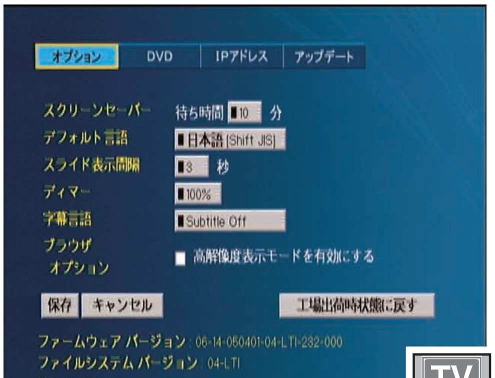


テレビの画面

以降は、リモコンの▲▼ボタンで選択したい項目を選択します。
各設定項目は次のページから説明します。

詳細設定画面 (1)

[オプション] を選択した場合に表示されます。本製品でスクリーンセーバー起動時間や、スライドショーなどの設定を行えます。



テレビの画面 TV

• スクリーンセーバー

スクリーンセーバーが起動するまでの時間を設定します。ここで設定した時間、本製品を操作しないとスクリーンセーバーが起動します。

• デフォルト言語

本製品で表示する言語を設定します。

⚠注意 英語を選択するとファイル名などに含まれる全角文字が正しく表示されなくなります。日本語 (出荷時設定) で使用することをおすすめします。

• スライド表示間隔

DVD や CD ディスクの写真データをスライドショー再生するときに、1 枚の写真を何秒表示するか設定します。

• ディマー

本体ディスプレイ部の LED 輝度を調整します。
100%、50%、OFF が選択できます。

• 字幕言語

AVI 形式の映像ファイルと同じ場所に、拡張子 smi、ssa、sub、srt の同名ファイルがある場合、字幕の表示が可能です。字幕ファイルに複数の言語が含まれる場合、表示する初期設定の言語を設定できます (PCast Media Server のインストールされたパソコンから再生時のみ対応)。

• 高解像度表示モードを有効にする

高解像度が表示可能なテレビをお使いの場合、1280 × 720 の解像度で表示を行います。テレビへの出力モードが [コンポーネント 720P]、または [コンポーネント 1080i] のときに設定することをおすすめします。高解像度に対応していない環境では、文字などが小さく表示され見づらくなります。

• 保存

変更した内容を保存します。

• キャンセル

設定した内容を保存せずに設定画面を終了します。

• 工場出荷時状態に戻す

本製品の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

• ファームウェアバージョン

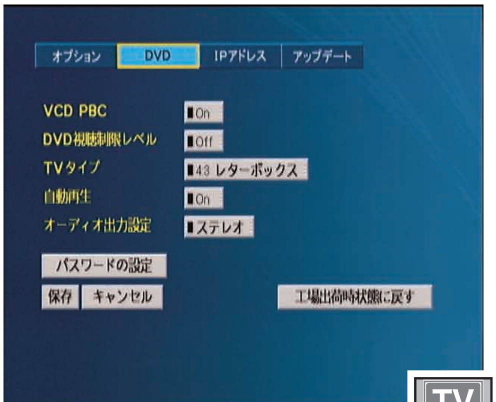
本製品のファームウェアのバージョンを表示します。

• ファイルシステムバージョン

本製品のファイルシステムのバージョンを表示します。

詳細設定画面 (2)

[DVD] を選択した場合に表示されます。テレビのタイプや DVD の視聴制限について設定を行えます。



テレビの画面 TV

• VCD PBC

ビデオ CD の PBC(Play Back Control) 機能を使用するか設定します。

• DVD 視聴制限レベル

DVD の視聴制限（パレンタルレベル）を設定します。あらかじめ視聴制限の情報が記録されている DVD に限り再生を制限する機能です。DVD 視聴制限レベルを設定すると、視聴制限の情報が記録されている DVD を再生する際にパスワードが必要となります。制限の目安は以下のとおりです。

8: 成人向け

7 ～ 4：中～高校生向け

2 ～ 3：小～中学生向け

1: 子供向け

off：制限しない

• TV タイプ

DVD ビデオの映像表示方法を「4:3 レターボックス」、「4:3 パンスキャン」、「16:9 ワイド」から選択できます。ワイドテレビをお使いの方は、「16:9 ワイド」を選択してください。通常のテレビをお使いの方は、「4:3 レターボックス」または「4:3 パンスキャン」を選択してください。レターボックスは映像の横幅を基準に映像を表示しますので、ワイド映像をご覧になる場合は画面の上下に黒い帯がでます。パンスキャンは、映像の縦幅を基準に映像を表示しますので、ワイド映像をご覧になる場合に左右の画面が欠けて見えることがあります。

⚠注意 DVD ビデオ再生時の設定です。ファイル再生時には TV タイプの設定は反映されません。

• オーディオ出力設定

オーディオの出力を設定します。「ステレオ」と「AC3 5.1」を選択できます。本製品にデジタルアンプなどを接続し、ドルビーデジタルや DTS などのマルチチャンネル音声を楽しみたい方は、「AC3 5.1」を選択してください。

⚠注意 ドルビーデジタルや DTS 対応の音響機器と接続していない場合は「ステレオ」を選択してください。「AC3 5.1」を選択すると音声が正しく出力されません。

• 自動再生

本製品にディスクを入れたときや、ディスクを入れたまま本製品を起動したときに、自動的に再生するかを設定します。

• パスワードの設定

DVD 視聴制限レベルを設定した場合のパスワードを設定します。

工場出荷時状態は、パスワードは「0000」に設定されています。

パスワードを忘れてしまったときは、工場出荷時に戻してからパスワード「0000」で設定しなおしてください。

• 保存

変更した内容を保存します。

• キャンセル

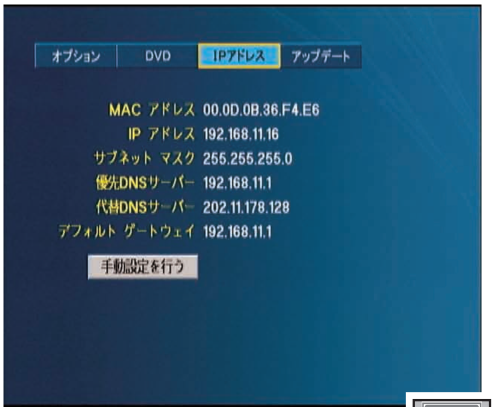
設定した内容を保存せずに設定画面を終了します。

• 工場出荷時状態に戻す

本製品の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

詳細設定画面 (3)

[IP アドレス] を選択した場合に表示されます。本製品のネットワーク設定を表示、設定できます。



テレビの画面 TV

- **MAC アドレス**

  本製品の MAC アドレスを表示します。

- **IP アドレス**

  本製品の IP アドレスを設定します。

- **サブネットマスク**

  サブネットマスクを表示します。

- **優先 DNS サーバ**

  優先 DNS サーバを表示します。

- **代替 DNS サーバ**

  代替 DNS サーバを表示します。

- **デフォルトゲートウェイ**

  デフォルトゲートウェイを表示します。

- **手動設定を行う**

  手動で設定を行う場合に選択します。この項目を選択した場合､本製品の IP アドレス､サブネットマスク､優先 DNS サーバ､代替 DNS サーバ､デフォルトゲートウェイを手動で設定できます。本製品を接続したネットワーク上にルータがない場合（DHCP サーバがない場合)、この項目を選択して IP アドレスなどを設定してください。

- **自動的に取得する**

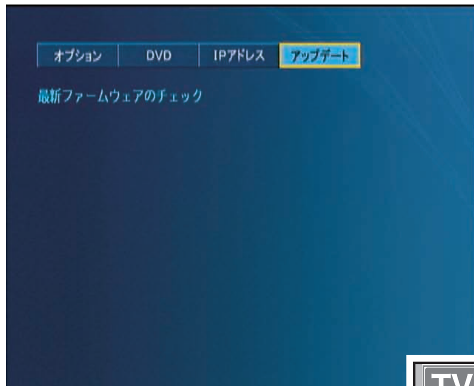
  IP アドレスなどの設定項目を、ネットワーク上にある DHCP サーバ（ルータなど）から自動的に取得します。

  メモ 工場出荷時には､[自動的に取得する] に設定されています。

詳細設定画面 (4)

[アップデート] を選択した場合に表示されます。本製品のファームウェアを更新するときに使用します。

注意
- **最新ファームウェアをチェックする場合は、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。**
- **プロキシ経由でしかインターネットを閲覧できないような環境 (会社や学校のネットワークなど) では、本製品のファームウェアを更新することはできません。**



テレビの画面 TV

- **最新ファームウェアのチェック**

  本製品がインターネットに接続できる場合に、最新のファームウェア（本製品の内部ソフトウェア）がないか確認します。最新のファームウェアが公開されている場合は、ファームウェアを更新します。

  ファームウェア更新時に以下の画面が表示されたときは、すでに最新のファームウェアで動作しています。

> Firmware Update System
> No update available.
> Click here to continue.

PCast Media Server の設定

PCast Media Server の設定を行います。PCast Media Server の設定で本製品で再生できるフォルダを変更、追加できたり、本製品からパソコンにアクセスするときにパスワードの入力を必要とすることができます。

設定画面を表示する (Windows)

設定画面を表示するには以下の手順で行ってください。

1　デスクトップにある 

アイコンをダブルクリックします。

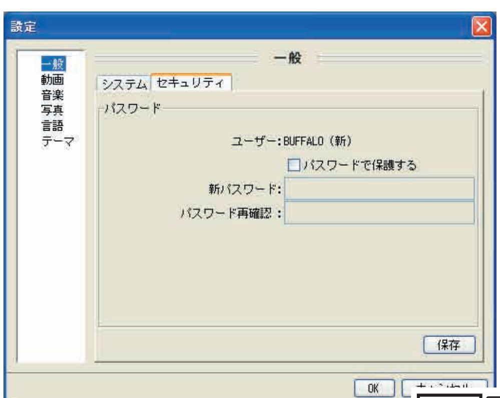
メモ　「PCast Media Server がすでに起動しています」と表示された場合は、[了解] をクリックしてください。

2　[編集]-[設定] を選択します。



パソコンの画面

3　PCast Media Server の設定画面が表示されます。



パソコンの画面

以上で設定画面の表示は完了です。各設定画面の項目は次ページから説明します。

一般設定 (Windows)

この設定には 2 つのタブがあり、タブごとに各種設定が行えます。[一般設定] では、[システム] [セキュリティ] を設定できます。

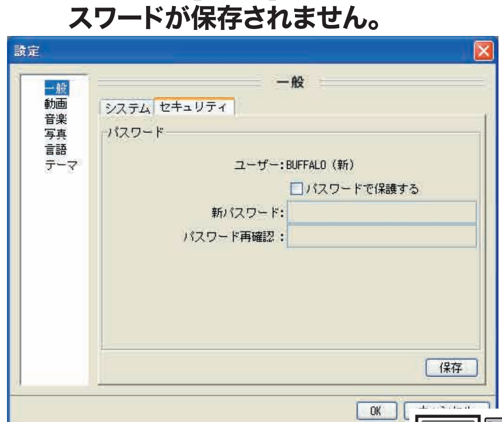
■システム

製品名、バージョン、コンピュータ名、ネットワークアドレス、ポート番号が表示されます。ポート番号は変更することができます (通常はそのまま使用します。8000 番を別のサーバーが使用しているときに変更してください)。

■セキュリティ

ここでパスワードを設定すると、本製品からパソコンにログインするときにパスワードの入力が必要となります。また、すでにパスワードを設定されているときは、この設定を行うのにパスワードの入力が必要です。

⚠注意
- **設定したパスワードは忘れないようにしてください。忘れてしまった場合は、PCast Media Server を削除してから、もう一度インストールしなおしてください。**
- **パスワードを設定するときは、パスワードを入力した後必ず [保存] をクリックしてください。[保存] をクリックしないとパスワードが保存されません。**

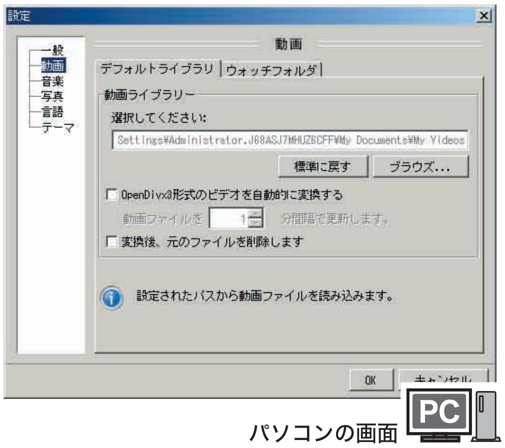


パソコンの画面

- **パスワードで保護する**
  パスワードを設定したいときにチェックをつけます。
- **新パスワード**　設定したいパスワードを入力します。
- **パスワード再確認**
  上の「新パスワード」で入力したパスワードをもう一度入力します。
- **保存**　パスワードを保存します。

動画設定 (Windows)

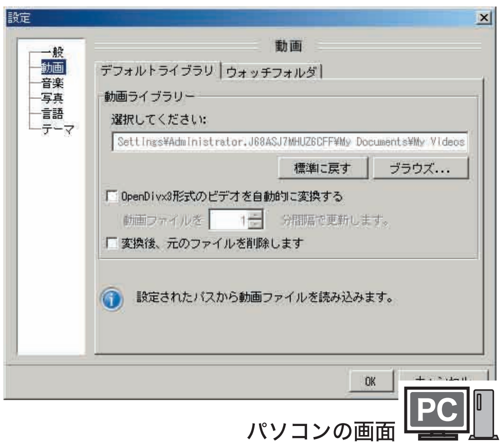
本製品で再生する映像ファイルを保存したフォルダを設定できます。また、この設定には２つのタブがあり、タブごとに各種設定が行えます。



パソコンの画面

■デフォルトライブラリ

本製品で再生するフォルダを指定できます。



パソコンの画面

- **動画ライブラリー**

  本製品で再生する映像ファイルを保存したフォルダを設定します。

- **標準に戻す**

  本製品で再生するフォルダを初期設定に戻します。初期設定は、「マイドキュメント（My Documents)」内の「マイ ビデオ（My Videos)」です。

- **ブラウズ**

  本製品で再生するフォルダを別のフォルダに指定したい場合にクリックします。クリックすると、フォルダを選択することができます。

- **OpenDivx3 形式のビデオを自動変換する**

  再生できない Open Divx®3 形式のファイルがあった場合、そのファイルを自動的に変換したいときにチェックをつけます。

⚠注意

- **本製品で再生できない MPEG4 形式のファイルがあるときのみ使用してください。<u>再生できるファイルを変換すると、再生できなくなることがあります。</u>**
- **設定を行った場合、ファイルを自動的に変換します。バックアップファイルは、元のファイル名から拡張子を .original に変更して保存されます。**

- **動画ファイルを　分間隔で更新します。**

  「自動変換を使用」にチェックをつけた場合に、どのくらいの間隔でデフォルトライブラリで指定したフォルダ内のビデオファイルをチェックするか設定します。

- **変換後、元のファイルを削除します**

  ファイルを変換した後に、元のファイルを削除する場合はチェックをつけます。

■ウォッチフォルダ

２つ以上のフォルダを本製品で再生したい場合に使用します。ウォッチフォルダは、デフォルトライブラリで設定したフォルダと同様に本製品で再生できます。



パソコンの画面

- **ウォッチフォルダを使用**

  デフォルトライブラリで設定したフォルダ以外にも本製品で再生したいフォルダがある場合にチェックをつけます。

- **＋**

  本製品で再生するフォルダを追加するときにクリックします。クリックすると、本製品で再生するフォルダを指定できます。

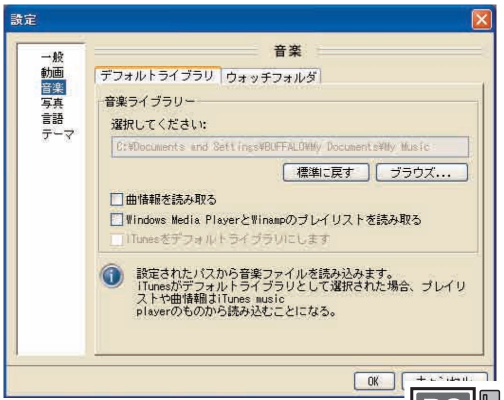
- **－**

  設定したフォルダを削除する場合にクリックします。設定を削除する場合は、削除したい設定をクリックした後、このボタンをクリックしてください。

⚠注意　ウォッチフォルダで設定したフォルダ内のファイルは、PCast Media Server で確認することができません。

音楽設定 (Windows)

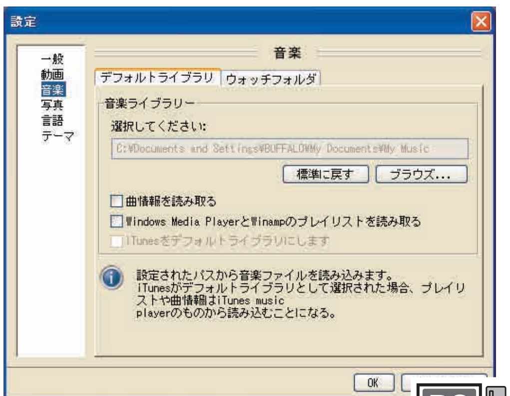
本製品で再生する音楽ファイルを保存したフォルダを設定できます。また、この設定には 2 つのタブがあり、タブごとに各種設定が行えます。



パソコンの画面

■デフォルトライブラリ

本製品で再生するフォルダを指定できます。



パソコンの画面

• 音楽ライブラリー

本製品で再生する音楽ファイルを保存したフォルダを設定します。

• 標準に戻す

本製品で再生するフォルダを初期設定に戻します。初期設定は、「マイドキュメント(My Documents)」内の「マイ ミュージック(My Music)」 です。

• ブラウズ

本製品で再生するフォルダを指定したい場合にクリックします。クリックすると、フォルダを選択することができます。

• 曲情報を読み取る

MP3 ファイルから曲情報を読み取ります。

チェックを入れると ID3 タグからアルバム名、歌手名、ジャンルを読みとって分類表示します。

• Windows Media Player と Winamp のプレイリストを読み取る

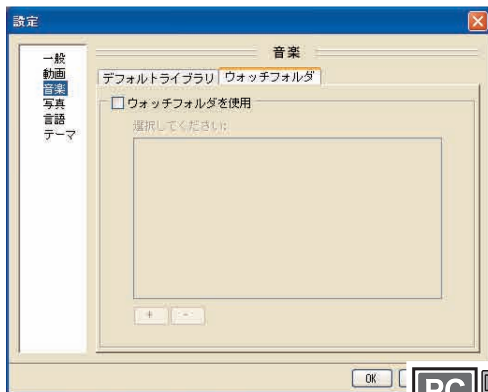
Windows Media Player と Winamp のプレイリストを表示することができます (お客様が指定した順番で再生することができます)。

• iTunes をデフォルトライブラリにします

iTunes で録音したフォルダを参照し、iTunes をデフォルトライブラリにします。iTunes がインストールされている場合に有効になります。

■ウォッチフォルダ

2 つ以上のフォルダを本製品で再生したい場合に使用します。ウォッチフォルダは、デフォルトライブラリで設定したフォルダと同様に本製品で再生できます。ただし、ウォッチフォルダで設定したフォルダ内のファイルは、PCast Media Server で確認することができません。



パソコンの画面

• ウォッチフォルダを使用

デフォルトライブラリで設定したフォルダ以外にも本製品で再生したいフォルダがある場合にチェックをつけます。

• ＋

本製品で再生するフォルダを追加するときにクリックします。クリックすると、本製品で再生するフォルダを指定できます。

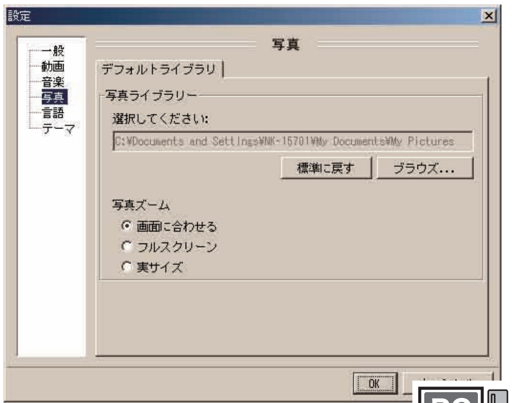
• －

設定したフォルダを削除する場合にクリックします。設定を削除する場合は、削除したい設定をクリックした後、このボタンをクリックしてください。

⚠注意 ウォッチフォルダで設定したフォルダ内のファイルは、PCast Media Server で確認することができません。

写真設定 (Windows)

本製品で表示する写真ファイルを保存したフォルダを設定できます。



パソコンの画面

- **写真ライブラリー**

  本製品で表示する写真ファイルを保存したフォルダを設定します。

- **標準に戻す**

  本製品で再生するフォルダを初期設定に戻します。初期設定は、「マイドキュメント（My Documents）」内の「マイ ピクチャ（My Pictures）」です。

- **ブラウズ**

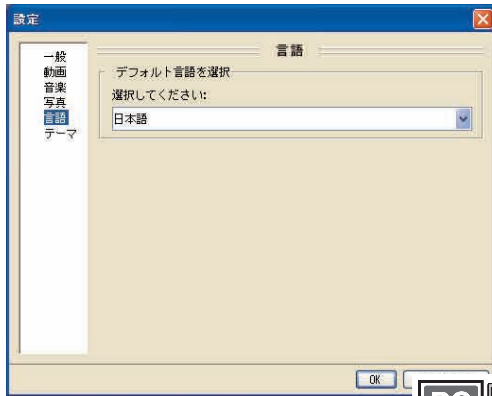
  本製品で表示するフォルダを指定したい場合にクリックします。クリックすると、フォルダを選択することができます。

- **写真ズーム**

  「画面に合わせる」「フルスクリーン」「実サイズ」から表示サイズを選択できます。

言語設定 (Windows)

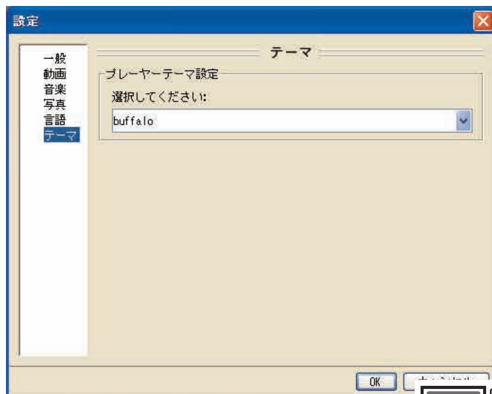
PCast Media Server で使用する言語を設定できます。本製品では日本語のみの対応となるため変更できません。



パソコンの画面

テーマ設定 (Windows)

本製品の画面デザイン設定です。本製品では 1 種類しかないため設定できません。



パソコンの画面

設定画面を表示する (Mac OS X)

Mac OS X をお使いの場合、MediaServer の設定はテレビ画面で行います。

メモ あらかじめ Macintosh 上で PCast Media Server を起動させてください。アプリケーションフォルダ内の [PCast Media Server] アイコンをダブルクリックすると起動します。

1 パソコン (Macintosh) を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。



テレビの画面

2 「設定」を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。

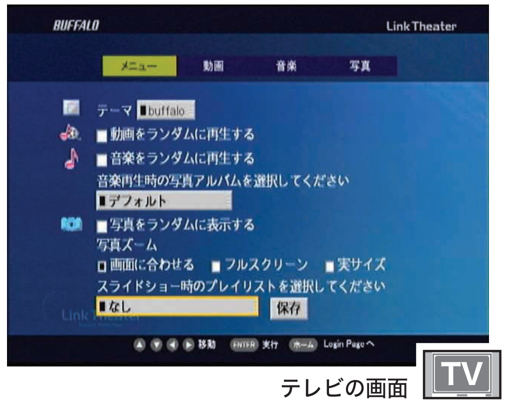


テレビの画面

以上で設定画面の表示は完了です。

設定 (Mac OS X)

各設定を選択し、[保存] を選択してリモコンの [選択・実行] ボタンを押すと設定できます。



テレビの画面

■テーマ

本製品の画面デザイン設定です。本製品では 1 種類しかないため設定できません。

■動画をランダムに再生する

[ムービー] フォルダにある動画ファイルをランダムに再生します。

■音楽をランダムに再生する

[ミュージック] フォルダにある音楽ファイルをランダムに再生します。

■音楽再生時の写真アルバム

音楽再生時に表示するアルバムを選択します。

■写真をランダムに表示する

[ピクチャ] フォルダにある写真ファイルをランダムに表示します。

■写真ズーム

「画面にあわせる」「フルスクリーン」「実サイズ」から写真の表示サイズを選択します。

■スライドショー時のプレイリスト

写真のスライドショー時に再生する音楽のプレイリストを選択します。

付録

ルータの無い環境での手動設定手順、ファームウェアのアップデート方法、LinkStation のデータを再生する方法、用語集、困ったときは、仕様について説明しています。

ルータをお持ちでない方へ（IP アドレスを手動で設定する手順）

ここでは、パソコンの IP アドレスを確認し、本製品の IP アドレスを手動で設定する手順を説明します。PCast Media Server をインストールしたパソコンを認識しないときや、インターネットをお使いの環境でルータを使用していない（DHCP サーバ機能がない）場合のみ行ってください。

メモ 画面で表示される数字や文字はお使いの環境によって異なります。

パソコンの IP アドレスを確認する

■ WindowsXP/2000 の場合

1 以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

［スタート］－［(すべての) プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を選択します。

2 画面に「C:¥>」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

3 「IP Address」欄と「Subnet Mask」欄に、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。

```
C:¥>IPCONFIG /ALL
Ethernet adapter ローカルエリア接続
IP address                        : 192.168.11.2
Subnet Mask                       : 255.255.255.0
Connection-specific DNS Suffix    :
Description                       : BUFFALO LGY-PCI-TXD Ethernet Adapter
Physical Address                  :
DHCP Enabled                      : Yes
Default Gateway                   : 192.168.0.1
DNS Servers                       : 192.168.0.1
```

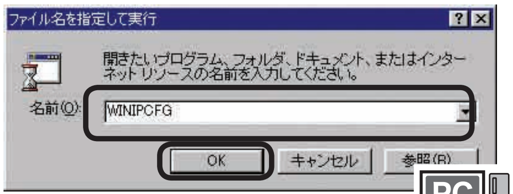
← 確認

以上でパソコンの IP アドレス確認は完了です。
つづいて P57 の手順で本製品の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
本製品に設定する IP アドレスやサブネットマスクの値は、P56 の「本製品に設定する IP アドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

■ WindowsMe/98SE の場合

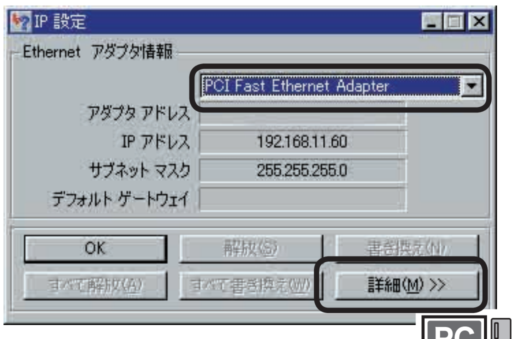
1 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択します。

2 「WINIPCFG」と入力し、[OK] をクリックします。



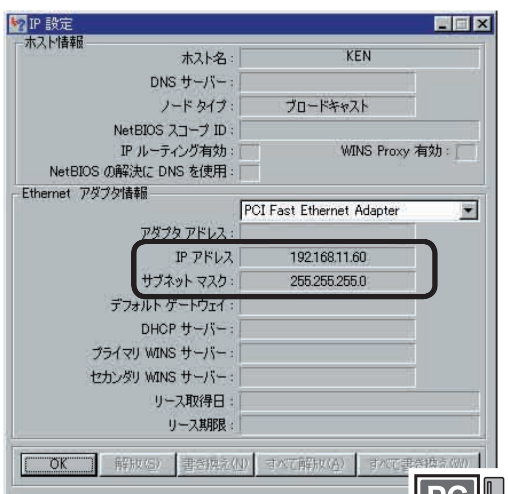
パソコンの画面

3 お使いのネットワークアダプタを選択し、[詳細] をクリックします。



パソコンの画面

4 「IP アドレス」と「サブネットマスク」欄を確認します。



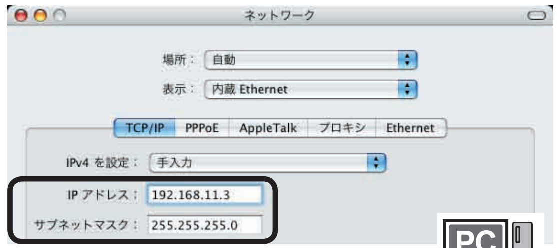
パソコンの画面

以上で IP アドレスの確認は完了です。
つづいて本製品の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
本製品に設定する IP アドレスやサブネットマスクの値は、P56 を参照してください。

■Mac OS X の場合

1 [アップルメニュー]-[システム環境]-[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

2 [TCP/IP] タブをクリックして、「IP アドレス」と「サブネットマスク」欄を確認します。



パソコンの画面

メモ　設定で「手入力」が選択されていないときは、「手入力」を選択し、IP アドレス、サブネットマスクを入力してください。

以上で IP アドレスの確認は完了です。
つづいて本製品の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
本製品に設定する IP アドレスやサブネットマスクの値は、P56 を参照してください。

本製品に設定する IP アドレスの値は？

本製品の IP アドレスには、以下のような値を設定します。

パソコンの IP アドレス
192.168.11.2　の場合

本製品の IP アドレス
192.168.11.12　に設定します。

同じ値にする（192.168.11 の部分）

1 ～ 254 の数字でパソコンと違う値にする（末尾の 12 の部分）

本製品に設定するサブネットマスクの値は？

本製品のサブネットマスクは、パソコンのサブネットマスクと同じ値を設定します。

パソコンのサブネットマスク
255.255.255.0　の場合

本製品のサブネットマスク
255.255.255.0　に設定します。

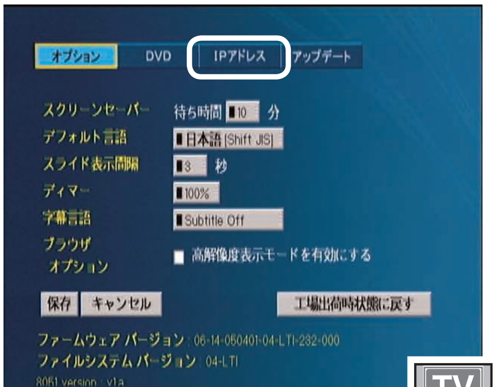
同じ値にする

本製品の IP アドレスを設定する

1 **本製品の電源を入れます。**

2 **[設定] ボタンを押して設定画面を表示します。**

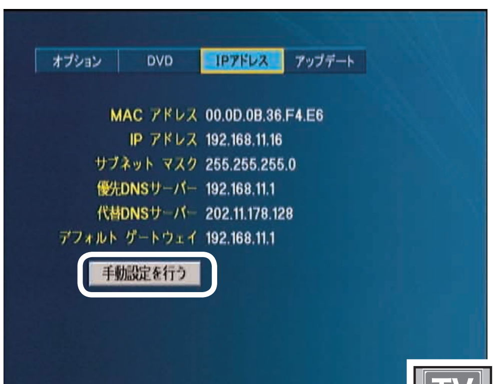
3 **[IP アドレス] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。**



テレビの画面

4 **[手動設定を行う] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。**

お使いの環境によっては手順 5 の画面が表示されることがあります。その場合は手順 5 へ進んでください。

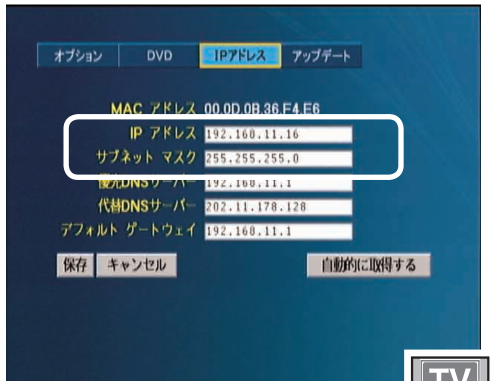


テレビの画面

5 **IP アドレスとサブネットマスクを入力します。**

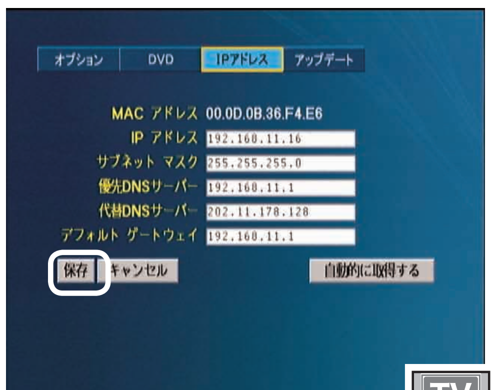
⚠注意 **IP アドレスがパソコンの値と重複しないようにしてください。設定する値がわからないときは、P56 の「本製品に設定する IP アドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。**

例：パソコンの IP アドレスが「192.168.11.2」サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、本製品の IP アドレスは「192.168.11.12」サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定します。



テレビの画面

6 **[保存] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。**



テレビの画面

7 **「OK を押してリブートしてください」と表示されたら、[選択・再生] ボタンを押します。**

以上で本製品の IP アドレスの設定は完了です。

LinkStation のデータを再生するには

弊社製 LinkStation(HD-LAN シリーズを除く)、TeraStation(本書では TeraStation を含めて LinkStation と記載しています) をお使いの場合、本製品で LinkStation 内のデータを再生することができます。ここでは、LinkStation 内のファイルを再生する手順を説明します。

ご注意

LinkStation 内のファイルを再生、表示するときは以下のことにご注意ください。

- **再生（表示）できる画像ファイルは JPEG 方式のファイルのみです。JPEG 形式以外（GIF、TIFF、BMP など）の画像ファイルは再生 (表示) できません。**
- **本製品の電源を入れてから LinkStation が認識されるまで 30 秒ほどかかることがあります。**
  本製品の電源を入れて 30 秒以上過ぎても LinkStation が認識されない場合は、本紙「LinkStation の設定画面で再生するフォルダを設定する」の手順を再度行ってください。サーバ機能を再起動して認識されるようになります。
- **パソコンなどから LinkStation にアクセスしているときに LinkStation 内のファイルを再生するとコマ落ちや音飛びすることがあります。**
  LinkStation 内のファイルを再生するときは、本製品以外から LinkStation にアクセスしないようにすることをお勧めします。

再生するまでの手順

LinkStation のデータを再生するには、以下の手順を行ってください。

ネットワークに LinkStation を追加する

▼

LinkStation の
ファームウェアをアップデートする

▼

LinkStation の設定画面で
再生するフォルダを設定する

▼

再生する

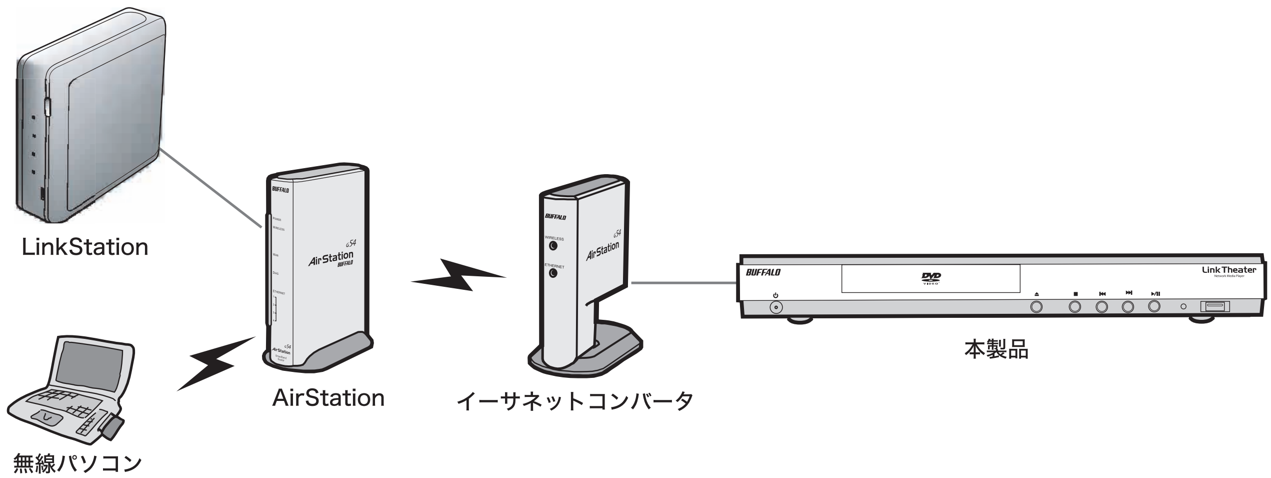
ネットワークに LinkStation を追加する

本製品を接続したネットワークに LinkStation を追加します。

メモ　本製品を接続する前から LinkStation をお使いになっていた場合には、以下の作業は必要ありません。次ページの「LinkStation のファームウェアをアップデートする」にお進みください。

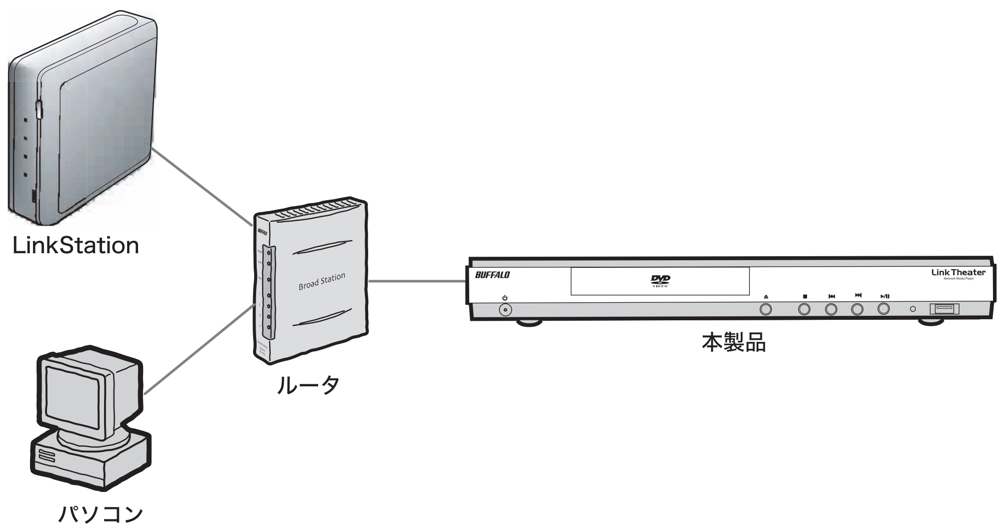
■本製品を無線で接続した場合

LinkStation を AirStation に接続します。



■本製品を有線で接続した場合

LinkStation をルータに接続します。



はじめに
接続・準備
使ってみよう
詳細設定
付録

LinkStationのファームウェアをアップデートする

LinkStationのファームウェアをアップデートします。LinkStationを設定したパソコンで以下の手順で行ってください。

⚠注意
- ファームウェアのアップデートするには、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。本製品と接続したルータやAirStationがインターネットに接続されていることを確認してください。
- アップデート前に、LinkStationのデータのバックアップを取ってください。
- アップデート中は、パソコンとLinkStationの電源を切らないでください。
- アップデートするときは、使用中のアプリケーションを終了してください。またファイアウォールソフト等が動作しているとアップデートが行えません。ファイアウォールを停止または終了してください。
- アップデート作業中は決してLinkStation内のファイルにアクセスを行わないでください。
- アップデートには数分かかります。10分以上たっても完了しない場合は、LinkStationを再起動し、再度アップデートを行ってください（ホスト名が「< LinkStationの製品型番 > -EM」と表示される場合があります）。

1 本製品付属のユーティリティCDをパソコンにセットします。

簡単セットアップが起動します。

2 [(お使いのLinkStation名) Media Server対応ファームウェアアップデート]を選択し、[開始]をクリックします。

3 「(お使いのLinkStation名）をLinkTheater用Media Server対応ファームウェアにアップデートします」と表示されたら[開始]をクリックしてください。

LinkStation検索後、画面が表示されます。

4 LinkStationが複数接続されている場合は、アップデートするLinkStationを選択します。

5 「ファームウェア更新」をクリックします。

6 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力して「OK」をクリックします。

パスワードを設定していない場合は、何も入力せずに[OK]をクリックします。

7 ファームウェアの転送と更新が開始されるので、完了するまで待ちます。

更新中は "LINK/ACT" 以外の全てのランプが点滅します。

8 完了メッセージが表示されたら、アップデート完了です。

LinkStation の設定画面で再生するフォルダを設定する

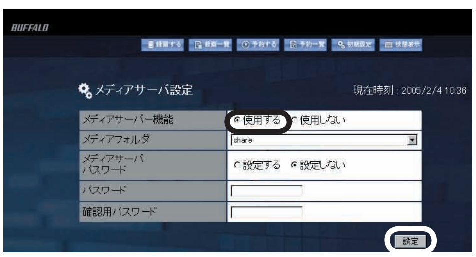
LinkStation のファームウェアをアップデートすると、LinkStation に本製品に関する設定項目が追加されます。この項目で再生するフォルダを設定します。また、再生を行うためのパスワードを設定することができます。以下のように設定してください。

1 LinkStation のマニュアルを参照して設定画面を表示します。

2 「PCast」の [LinkTheater 設定] をクリックします。

3 メディアサーバ機能に [使用する] を選択し、メディアフォルダに本製品で再生したいフォルダを選択して [設定] をクリックします。

メディアフォルダで選択できるフォルダは、第 2 階層までにあるフォルダです(フォルダ名が長いと表示されないことがあります)。また、LinkStation に接続した USB ハードディスクのフォルダも選択できます。
選択したフォルダのサブフォルダのファイルも再生できます。



パソコンの画面 PC

本製品から LinkStation のデータを見るときのパスワードを設定できます。パスワードを設定するときは、「メディアフォルダパスワード」の [設定する] にチェックを付け、「パスワード」と「再入力（確認用)」に設定したいパスワード（半角英数字 4 文字以内)を入力してください。

LinkStation のデータを再生する

LinkStation のデータを再生する手順は以下のとおりです。

⚠注意 LinkStation を初めて接続した場合、本製品の電源を入れてから LinkStation が認識されるまでに 30 秒ほどかかることがあります。30 秒たっても LinkStation が認識されない場合は、「LinkStation の設定画面で再生するフォルダを設定する」の手順を再度行ってください。

1 本製品の電源を入れ、LinkStation を選択します。

パスワードを設定した場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。

2 ジャンル (動画・音楽・静止画) を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。



テレビの画面 TV

選択したジャンルのファイルのみリスト表示されます。再生したいファイルを選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。

以上で再生手順は完了です。なお、この画面に表示されるボタンの働きは以下のとおりです。

- **戻る**　1 つ前のフォルダに移動します。
- **<<**　前のページに移動します。リモコンの [前] ボタンでも前ページに移動できます。
- **>>**　次のページに移動します。リモコンの [次] ボタンでも次ページに移動できます。
- **全再生 / スライド**　フォルダ内の映像ファイルや音楽ファイルを連続で再生します。
- **ランダム再生**　フォルダ内の映像ファイルや音楽ファイルをランダムに再生します。

※ [Link de 録 !!] の項目は別売の弊社製 Link de 録 !! 対応 USB キャプチャ BOX を LinkStation に接続していないと設定できません。

LinkTheater のファームウェアのアップデート方法

本製品のファームウェア（内部ソフトウェア）をアップデートする手順を説明します。

⚠注意
- **ファームウェアのアップデートするには、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。本製品と接続したルータや AirStation がインターネットに接続されていることを確認してください。**
- **本製品にディスクを入れている場合は、アップデートをする前に取り出してください。**
- **アップデート中は、本製品の電源を切らないでください。また、ディスクの出し入れやボタン操作も行わないでください。アップデートは通常 5 〜 10 分で完了しますが、お使いのネットワーク環境（ネットワーク回線が込み合っている場合やアナログモデムをお使いの場合など）によっては 40 分程度かかることがあります。**

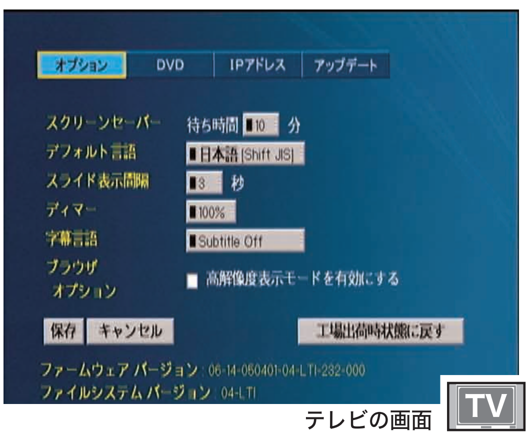
1 本製品の電源を入れます。



テレビの画面

2 リモコンの [設定] ボタンを押します。

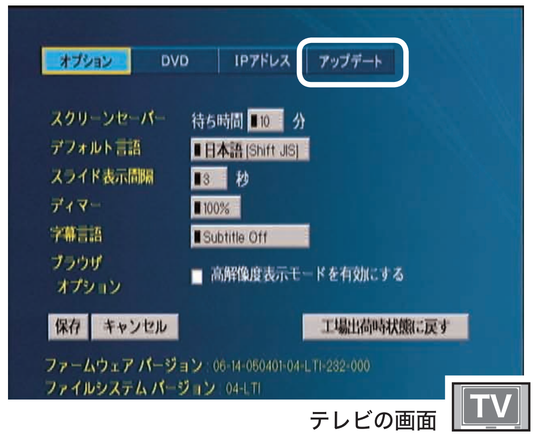
詳細設定画面が表示されます。



テレビの画面

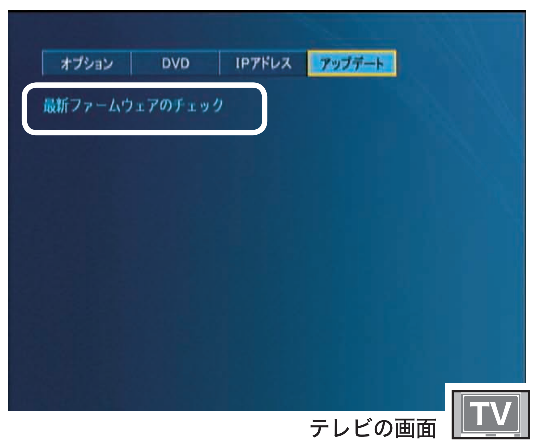
メモ 現在のファームウェアのバージョンは、画面下に表示される「ファームウェアバージョン」に表示されます。

3 [アップデート] を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。



テレビの画面

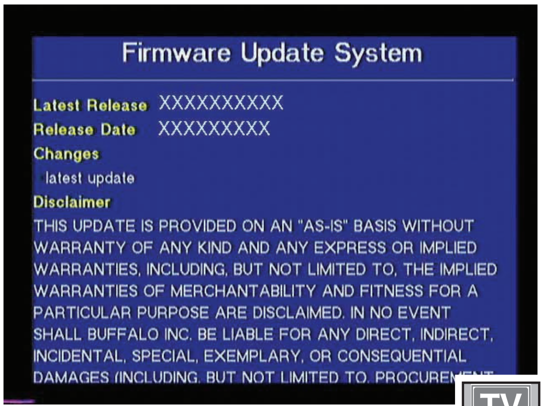
4 [最新ファームウェアのチェック] を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。



テレビの画面

メモ ファームウェアのアップデートを行ったことがある場合には、この画面に [ファームウェアのロールバック] という文字が表示されます。この文字を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押すと、アップデートする前のファームウェアに戻すことができます。

5 以下の画面が表示されたら [▼] ボタンを押して画面の一番下までスクロールします。



TV テレビの画面

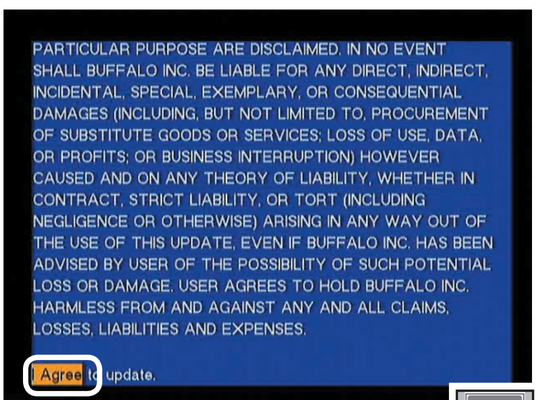
「指定されたサーバーに接続できません」と表示された場合

本製品からインターネットに接続できるように配線されているか確認してください。また、LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

「No update available.」と表示された場合

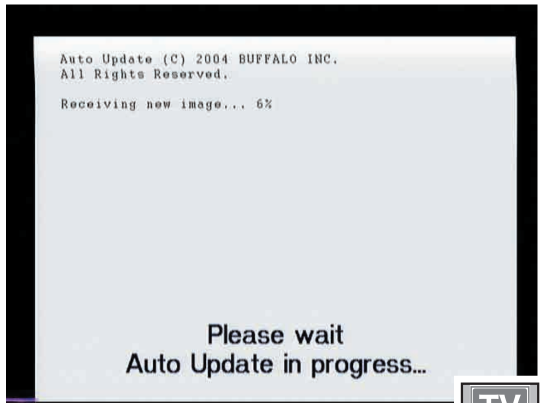
本製品はすでに最新のファームウェアで動作しています。アップデートする必要ありません。リモコンの [ログイン] ボタンを押して、本製品をお使いください。

6 [I Agree] の文字を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。



TV テレビの画面

7 以下の画面が表示されアップデートが始まります。



TV テレビの画面

8 アップデートが完了すると自動的に本製品の電源が切れます。

以上でファームウェアのアップデートは完了です。電源を入れ、本製品をお使いください。

メモ アップデートする前のファームウェアに戻す（ロールバックする）こともできます。元のファームウェアに戻す場合は、以下の手順で行ってください。

① P62 の手順 1 ～ 3 を行います。

② P62 の手順 4 の画面で [ファームウェアのロールバック] を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。

以降は画面に従って作業を行ってください。

用語集

・アスペクト比

映像の縦と横の比率です。一般のテレビは4:3、ワイドテレビは16:9になっています。

・タイトル

DVDビデオディスクに記録された一番大きな単位です。映画などでは1つの作品が1つのタイトルとなっていることが多く、ディスクによっては1枚に複数のタイトルが記録されていることもあります。

・チャプター

ひとつのタイトルをいくつかに区切った単位です。各チャプターごとに頭だしできるようになっています。

・トラック

音楽CDやMP3の曲のことです。

・コンポーネントビデオ

映像信号の方式です。映像を3つの信号に分けて伝送する方式で、Y/CB(PB)・CR(PR)などの信号形式があります。一般のAVケーブルで接続するよりも高品質の映像をお楽しみいただけます。

・DivX®

映像圧縮のフォーマット技術です。低ビットレートでも高画質を保って保存できます。

・MPEG

Moving Picture Expert Group（通称MPEGフォーマットフォーラム）が定めた動画圧縮の国際規格です。MPEGフォーマットは、映像と音声を別々に圧縮する方法が採用されており、DVD-VideoやVideo-CDにも使われているフォーマットです。MPEGフォーマットには､｢MPEG-1｣｢MPEG-2｣などいくつの形式があります。

・MPEG-1

MPEG-1フォーマットとは、1990年に規格化された動画圧縮技術で、Video-CDのフォーマット形式に用いられています。映像圧縮規格のMPEG-1と、音声圧縮規格である「MPEG-1 AudioLayer-1」「MPEG-1 AudioLayer-2」「MPEG-1 AudioLayer-3（MP3)」のうちどれかを組み合わせることにより、1つの動画ファイルとなる形式です。CD-R1枚（650MB）に352 × 240の解像度で約74分の映像を保存できます。

・MPEG-2

MPEG-1フォーマットで蓄積されたノウハウを活かし、より画質を向上させたフォーマットです。DVD-Videoの形式に用いられています。

・MP3

元の音質をあまり損なわずに圧縮できる音声圧縮形式です。PCMなどに比べ小さな容量に圧縮できます。

・ビットレート

画質を決定する値です。ビットレートが高くなると画質が向上しますが、録画ファイルの容量が大きくなります。通常は、1秒間に流れるデータ量を表します。

・PBC

ビデオCDを再生する方式です。表示されるメニューを見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

・コンポーネント映像出力端子、D4出力端子

通常のAVケーブルやS映像端子よりも鮮明な映像を表示することができます。また、プログレッシ映像出力にも対応しており、高密度な映像を楽しむことができます。

・プログレッシブ出力

映像の出力形式です。付属のAVケーブルやS端子ケーブルで接続した場合に出力される信号（インターレース出力）の倍の走査線を持つ高密度な映像信号です。本製品の場合は、コンポーネントケーブルでプログレッシブ対応のテレビと接続した場合やD2以上のD端子入力を持つテレビと接続した場合に切り替えることができます。

・S映像出力

映像の出力方式です。映像の信号をカラーと輝度の信号に分けて伝送するため、付属のAVケーブルで接続するよりも鮮明な映像を見ることができます。

・ドルビーデジタル

デジタル音声の圧縮方式です。マルチチャンネル音声に対応しており、高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

・DTS

デジタル音声の圧縮方式です。映画館などで採用されており、マルチチャンネル音声に対応しています。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

困ったときは

電源が入らない

原因：
電源コードがコンセントまたは本製品から外れている
対策：
電源コードはコンセントおよび本製品に接続してください。

映像や音声が出ない

原因①：
テレビの接続が間違っている
対策①：
正しく接続してください

原因②：
入力を正しく選択していない
対策②：
テレビの入力を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。

原因③：
DVD ビデオの音声トラックが DTS になっている
対策③：
DTS は DTS 対応の音響機器で再生しないと正常に音声が出力されません。お使いの機器が DTS に対応していない場合は、DTS 以外の音声に切り替えてお使いください。

原因④：
テレビモードがプログレッシブになっている
対策④：
プログレッシブ対応のテレビでない場合は、プログレッシブ再生した映像を表示できません。そのまま 15 秒待つか、キャンセルを選択してください。[選択・再生] ボタンを押すと現在のモードに決定されます。

リモコンで操作できない

原因①：
電池が入っていない
対策①：
電池をリモコンにセットしてください

原因②：
電池が消耗している
対策②：
新しい電池と交換してください

原因③：
電池の入れ方が間違っている
対策③：
電池の極性（+、－）を確認して、正しく入れてください

原因④：
リモコンをテレビに向けている
対策④：
リモコンは本製品に向けて操作してください。

原因⑤：
リモコンと本製品の間に障害物がある
対策⑤：
障害物をなくすか、避けてお使いください。

原因⑥：
リモコンと本製品の間隔が遠い
対策⑥：
リモコンを本製品に近づけて操作してください。

登録フォルダに入れたファイルを認識できない

原因①：
ファイル名に半角カタカナを使用している
対策①：
ファイル名に半角カタカナが使用されていると認識できません。ファイル名を変更してください。

原因②：
ファイル名に 2 バイトコード文字（全角文字）を使用している
対策②：
ファイル名に 2 バイトコード文字が使用されていると正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は、ファイル名を変更してください。

DVD ビデオを再生できない

原因①：
DVD-VR または DVD+VR の形式で書き込んだ DVD を再生している
対策①：
DVD-VR や DVD+VR の形式で記録された DVD は再生できません。DVD-VIDEO 形式で記録してください。

原因②：
海外（リージョンコードが「2」以外）の DVD ビデオを再生している
対策②：
本製品は海外の DVD ビデオを再生することができません。日本国内（リージョンコードが「2」）の DVD ビデオを再生してください。
リージョンコードを変更することはできません。

ディスクの時間情報が表示されない

原因①：
ファイナライズされていないCD-R/RWを再生している
対策①：
ファイナライズされていない場合、ディスクの時間情報（再生時間など）が表示されない場合があります。ファイナライズされたディスクをお使いください。

本製品でパソコンが認識できない

原因①：
LAN ケーブルが接続されていない
対策①：
本製品およびパソコンに LAN ケーブルが接続されているか確認してください (カチッと音がするまで差し込んでください)。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因②：
ケーブルが間違っている（パソコンと直接接続する場合）
対策②：
パソコンと本製品を直接する場合は、クロスケーブルが必要です。クロスケーブルで接続してください。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因③：
パソコンに PCast Media Server をインストールしていない
対策③：
パソコンに PCast Media Server をインストールしてください。

原因④：
PPPoE 接続ツール（フレッツ接続ツールなど）がインストールされている
対策④：
PPPoE 接続ツールをアンインストールしてください。

原因⑤：
PCast Media Server が起動していない
対策⑤：
タスクトレイに PCast Media Server のアイコンが表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、ディスクトップの PCast Media Server アイコンをダブルクリックしてください。

原因⑥：
ルータやアクセスポイントが故障している
対策⑥：
どうしてもルータやアクセスポイントに接続した環境で認識できないときは、P22 を参照して、パソコンと直接本製品を接続してお使いください。

原因⑦：
IP アドレスが間違っている
対策⑦：
「ルータをお持ちでない方へ」（P54）を参照して、本製品と IP アドレスとパソコンの IP アドレス「***.***.***.;;;;」（「*」や「;」は数字）の ** 部分が同じであることを確認してください。
例えば、本製品の IP アドレスが「192.168.11.51」の場合、パソコンのIPアドレスが「192.168.11.61」などになっていることを確認してください。

原因⑧：
パソコンの IP アドレスが変更された
対策⑧：
P41 を参照して一度パソコンを削除し、リモコンの [ホーム] ボタンを押してトップ画面を表示させます。[更新] ボタンを押してください。新しい IP アドレスでパソコンが認識されます。

原因⑨：
ファイヤーウォール機能を持つソフトがインストールされている
対策⑨：
ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品からパソコンを認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、UDP ポート「1900」と TCP ポート [8000」の使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。以下では、ファイヤーウォール機能を無効にする手順を例として記載します。

【トレンドマイクロ社ウィルスバスター 2003 がインストールされている場合】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。
1. [スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [トレンドマイクロウィルスバスター 2003] ー [ウィルスバスター 2003 操作]を選択します。
2. 「ウィルスバスター 2003 操作画面」が起動したら、[プロフェッショナル]タブをクリックします。
3. 右側に表示されている［緊急ロック］ボタンをクリックし、「緊急ロックがオフになりました」と表示されることを確認して、[OK］をクリックします。

4. ［無線 LAN モード］ボタンに×印がついていることを確認します。×印がついていない場合は、［無線 LAN モード］ボタンをクリックして無線 LAN モードを OFF にしてください。ここまでの設定ができたら、「ウィルスバスター 2003 操作画面」を閉じます。
5. [スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [トレンドマイクロウィルスバスター 2003] ー [ウィルスバスター2003設定]を選択します。「LAN にプロキシサーバーを使用する」がチェックされていない場合は、設定完了です。チェックされている場合は、［詳細設定］をクリックして、手順 6 以降に進みます。
6. 「ウィルスバスター 2003 操作画面」が起動したら、[パーソナルファイアウォール］ー［セキュリティレベル］内にある「パーソナルファイアウォールを有効にする」のチェックマークを外し、[適用］をクリックします。

以上で設定は完了です。

【トレンドマイクロ社ウィルスバスター 2002 がインストールされている場合】

「パーソナルファイアウォール機能」を無効にした状態でご利用になるか、手動設定で本製品の IP アドレスを「信頼するコンピュータ」として登録してください。詳細は、以下を参照してください。

● パーソナルファイアウォール機能を無効にする方法

1. [スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [トレンドマイクロウィルスバスター 2002] ー [ウィルスバスター2002設定]を選択します。
   ※ウィルスバスターが常駐している場合は、タスクトレイ上のウィルスバスターアイコンを右クリックし、「設定画面を起動」を選択します。
2. ウィルスバスター 2002 操作画面内のクイック設定より、「パーソナルファイアウォール」のチェックマークを外し、[適用] をクリックします。

以上で設定は完了です。

● Link Station の IP アドレスを登録する方法

1. [スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [トレンドマイクロウィルスバスター 2002] ー [ウィルスバスター2002設定]を選択します。
   ※ウィルスバスターが常駐している場合は、タスクトレイ上のウィルスバスターアイコンを右クリックし、「設定画面を起動」を選択します。
2. ウィルスバスター 2002 の設定画面の左側のメニューから「パーソナルファイアウォール」ー「信頼するコンピュータ」を選択します。
3. 「信頼するコンピュータ」欄にネットワークアダプタが表示されますので、チェックを入れて［適用］をクリックします。

以上で設定は完了です。

【WindowsXP のファイアウォール機能が有効に設定されている場合】

以下の手順でファイアウォール機能を無効にしてください。

1. [スタート]-[コントロールパネル]をクリックします。
2. [クラシック表示に切り替える] をクリックします。
   ※ [カテゴリ表示に切り替える] と表示されている場合は、[クラシック表示に切り替える] は表示されていません。そのまま作業を続行してください。
3. [ネットワーク接続] をダブルクリックします。
4. [ローカルエリア接続] (または [ワイヤレスネットワーク接続]) を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
5. [詳細設定] タブをクリックします。
6. [インターネット接続ファイアウォール] 内のチェックボックスにチェックマークがあるか確認してください。ある場合はクリックしてチェックマークを外してください。
7. [OK] をクリックします。

以上で設定は完了です。

映像、音楽、写真を再生できない

原因①

再生しているファイルの種類、画質、エンコード条件が本製品にあっていない

対策①

ファイルの種類や画質、エンコード条件によって本製品で再生できない場合があります。本製品で再生できる形式のファイルを再生してください (P30)。

原因②：

ファイルが壊れている

対策②：

ファイルが壊れている場合は再生できません。

原因③：

ベースライン JPEG 以外の JPEG ファイルを表示している

対策③：

本製品で表示できる JPEG ファイルは、ベースライン JPEG のみです。ベースライン JPEG ファイルを表示してください。

原因④

保存しているフォルダ階層が深い

対策④

画像ファイルの場合、2 階層以降にあるファイルを再生できません。2 階層より上のフォルダにファイルを移動してください。

原因⑤
映像と音声がインターリーブされていない
対策⑤
インターリーブされていない AVI ファイルは再生できません。AVI ファイル作成時は、インターリーブする設定で作成してください。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

原因⑥
FileSystem Revision が付加されていない
対策⑥
DVD や CD にファイルを記録するときは、FileSystem Revision を付けてください。WinCDR では、[設定] ー [データ設定] ー [ISO9660/UDF] タブから [バージョン情報] にチェックを入れると付けられます。

原因⑦
[Use Quarter Pixel] または [USE GMC] オプションを有効にしてエンコードした DivX® 5 形式のファイルを再生している
対策⑦
[Use Quarter Pixel] または [USE GMC] オプションを有効にしてエンコードした DivX®5 形式のファイルは再生できません。エンコードするときはこれらのオプションを無効にしてください。

原因⑧
著作権保護されたファイルを再生している
対策⑧
本製品は著作権保護されたファイルを再生できません。著作権保護されていないファイルを再生してください。

映像が正しく表示されない

原因①：
NTSC 方式以外のテレビ方式で記録された映像を再生している
対策①：
NTSC 方式以外の方式で記録された映像は正常に表示されないことがあります。

原因②：
本製品をビデオ機器を経由させテレビに接続している
対策②：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機器を経由させると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、テレビに直接接続してください。

原因③：
本製品をビデオ機能を搭載したテレビに接続している
対策③：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機能を搭載したテレビに接続すると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、ビデオ機能が搭載されていないテレビと接続してください。

再生するとコマ落ち、音飛びする

原因①：
本製品を接続したネットワークで他の機器が通信している
対策①：
本製品の再生中に他の機器で通信を行っていると、ネットワークが混雑しコマ落ちや音飛びすることがあります。コマ落ちや音飛びする場合は、他の機器の通信を終了してから再生してください。

原因②：
11Mbps の無線で接続している
対策②：
11Mbps の無線で接続している場合、3Mbps 以上のファイルを再生するとコマ落ちや音飛びすることがあります。

原因③：
再生したファイルの種類や画質、エンコード条件が本製品とあっていない
対策③：
ファイルの種類や画質、エンコード条件によってコマ落ちや音飛びすることがあります。本製品の条件にあったファイルを再生してください(P30)。

テレビタイプの変更ができない

原因①：
ファイル再生中にテレビタイプを変更している
対策①：
ファイル再生中はテレビタイプを変更できません。再生を停止してから変更してください。

DVD ビデオのタイトルサーチ機能やズーム表示機能が使用できない

原因①：
DVD ビデオディスクで機能が制限されている
対策①：
DVD ビデオディスクによっては、機能を制限している場合があります。詳しくは、DVD ビデオディスクのマニュアルを参照してください。

プログレッシブスキャン出力機能を使用できない

原因①：
テレビがプログレッシブスキャンに対応していない
対策①：
プログレッシブスキャン出力機能を使用するときはテレビのコンポーネント映像入力端子に接続するか、D2 以上の映像入力端子に接続してください。また、テレビがプログレッシブスキャン機能に対応しているか確認してください。

原因②：
付属の AV ケーブルまたは S 映像ケーブルでテレビと接続している
対策②：
プログレッシブスキャン出力機能を使用するときはテレビのコンポーネント映像入力端子に接続するか、D2 以上の映像入力端子に接続してください。

テレビに何も映らない

原因①：
プログレッシブ出力設定になっている
対策①：
プログレッシブ映像を表示できるのは、プログレッシブ機能対応テレビのみです。プログレッシブ機能に対応していないテレビをお使いの場合は [テレビモード] ボタンで出力モードを切り替えてください。

原因②：
映像出力端子を複数接続している
対策②：
D4 出力端子、色差コンポーネント出力端子、S 映像出力端子、ビデオ出力端子を同時に 2 系統以上接続すると正常に出力されないことがあります。
本製品とテレビの接続は、1 系統の接続のみとしてください。

「古いバージョンの Java ランタイムを検出しました」と表示され PCast Media Server をインストールできない

原因①：
古いバージョンの Java ランタイムを使用している
対策①：
[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除] から現在使用している Java ランタイムを削除してください。
PCast Media Server をインストールすると新しいバージョンの Java ランタイムも同時にインストールされます。

メディア再生時に回転音が大きい

原因①：
重心の偏ったメディアを使用している
対策①：
データ CD やデータ DVD では回転が高速なため、重心の偏よったメディアを使用すると、回転時に振動が発生し、異音が聞こえることがあります。重心の偏ったメディアを使用したり、メディアにシールなどを貼ったりしないでください。

リモコンで前の表示画面に戻りたい

リモコンの [戻る] ボタンを押してください。

テレビで見たとき端 (外周部) の映像がカットされている、映像がずれて見える

一般的にテレビは映像信号の外周部を少しカットして表示するオーバースキャン表示方式を使用しています。テレビによってカットする量に差があり、お使いのテレビによっては、映像の端 (外周部) がカットされて見えたり、映像が左右または上下にずれて見えることがあります。

PCast Media Server がブロックされて本製品でパソコンを認識できない (WindowsXP)

PCastMediaServer のインストール後、パソコンを再起動したとき、「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されることがあります。
このようなときは、[ブロックの解除] をクリックしてください。

[後で確認する] をクリックしてしまった場合
PCastMediaServer を再起動してください。再び「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されます。[ブロックの解除] をクリックしてください。

[ブロックする] をクリックしてしまった場合
次の手順でファイアウォールの設定を変更してください。
1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [ネットワークとインターネット接続]-[Windows ファイアウォールの設定を変更する] をクリックします (または [Windows ファイアウォール] をダブルクリックします)。
3. [例外] タブをクリックします。
4. [PCastMediaServer-server] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。[OK] をクリックします。

仕様

メモ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

有線LANインターフェース	
対応規格	IEEE802.3/IEEE802.3u準拠（10BASE-T/100-BASE-TX）
転送速度	10/100Mbps（オートセンス）
コネクタ形状	RJ-45型8極コネクタ
外部出力	
フォーマット	NTSC（日本国内仕様）
コンポジットビデオ	RCAピンジャック
Sビデオ	ミニDIN4ピン
D4ビデオ	MDR14ピンコネクタ
色差コンポーネント	Y、Cb/Pb、Cr/Pr
アナログオーディオ	右、左
デジタルオーディオ	光角形、同軸
外部入力	
USB規格	Universal Serial Bus Revision2.0/1.1
USBコネクタ	シリーズA
PCast Media Server	
対応パソコン	Ethernetポートを搭載するDOS/V機(OADG仕様)、およびNEC PC98-NXシリーズ、Apple Macintoshシリーズ
対応OS	WindowsXP、Windows2000、WindowsMe(Millennium Edition)、Windows98Second Edition、Mac OS X(10.3以降)
CPU	PentiumⅢ 500MHzまたは同等性能以上の互換CPU
メモリ	128MB以上（256MB以上推奨）
ハードディスク	50MB以上の空き容量
ネットワーク	Ethernetポート（100BASE-TX/10BASE-T）

その他	
使用電源	AC100V　50/60Hz
最大消費電力	25W（スタンバイ時1W）
動作環境	温度：5～40℃　　　湿度：20～80%（結露なきこと）
外形寸法	420(W)×50(H)×265(D)mm(突起物含まず)
重量	約2.7kg
対応LinkStation(TeraStation)	弊社製HD-HLANシリーズ、HD-HGLANシリーズ、HS-DGLシリーズ、HD-HLWGシリーズ、HD-HTGLシリーズ

はじめに

接続・準備

使ってみよう

詳細設定

付録

Memo

切り取り

保　証　書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件の下に置いて修理を致します。
・修理は必ずこの保証書を添えてご依頼ください。
・この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

株式会社バッファロー

本社　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通四丁目15番

お　名　前	フリガナ	
ご　住　所	〒	TEL：(　　)　　ー

製　品　名	PC-P3LAN/DVD
シリアルNo.	製品本体に記載
保証期間	ご購入日より1年間
ご購入日 ※販売店様記入欄	年　月　日 ご購入日が確認できる書類（レシートなど）を添付の上、修理をご依頼ください。

※以下は弊社内での業務連絡として使用しますのでお客様はご記入なさらないでください。

年　月　日	サ　ー　ビ　ス　内　容	担　当

切り取り

切り取り

保　証　契　約　約　款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却下さい。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条（定義）

1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障個所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条（無償保証）

1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。
2 修理をご依頼される際に、保証書をご提示頂けない場合。
3 ご提示頂いた保証書が、製品名および製品シリアルNo.等の重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いのある場合、または製品に表示されるシリアルNo.等の重要事項が消去、削除、もしくは改ざんされている場合。
4 販売店様が保証書にご購入日の証明をされていない場合、またはお客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）が添付されていない場合。
5 お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
6 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
7 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
8 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
9 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第3条（修理）

この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。

1 修理のご依頼時には製品を弊社修理センターにご送付ください。修理センターについては各製品添付のマニュアル（電子マニュアルを含みます）またはパッケージをご確認ください。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。
2 修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂く事があります。
3 ハードディスク等のデータ記憶装置またはメディアの修理に際しましては、修理の内容により、ディスクもしくは製品を交換する場合またはディスクもしくはメディアをフォーマットする場合などがございますが、修理の際、弊社は記憶されたデータについてバックアップを作成いたしません。また、弊社は当該データの破損、消失などにつき、一切の責任を負いません。
4 無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
5 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きますが、 修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。

第4条（免責事項）

1 お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
2 お客様がご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修補しまたは瑕疵のない製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
3 弊社における保証は、お客様がご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条（有効範囲）

この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

切り取り

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。

・本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる
・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。

PC-P3LAN/DVD ユーザーズマニュアル
2005年9月12日 第3版発行
発行　　株式会社バッファロー

お問い合わせ・修理窓口

お問い合わせ、修理については、以下の順にてお願い致します。

1 マニュアル、オンラインガイドにて設定内容・トラブルシューティングをご確認ください。

2 弊社ホームページにて最新Q&A情報、最新ドライバ・ファームウェアをご確認ください。

インターネット

製品情報　buffalo.jp
サポート情報　86886.jp（ハローバッファロー）

3 上記で改善しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。

バッファローサポートセンター

お問合せの際は、以下「必要な情報」③～⑦をあらかじめご確認ください。

電話でのお問い合わせ先　※電話番号のお掛け間違いがないようご注意ください。

【電話窓口】

電話番号（東　京）03-5781-7260　月～金　9:30-19:00　土　9:30-18:00
電話番号（名古屋）052-619-1188　月～金（祝日除く）9:30-17:00

手紙でのお問い合わせ先　住所　〒457−8570　名古屋市南区豊田3−3−5

4 修理は以下へご依頼ください。　※修理に送られる際、弊社への事前連絡は不要です。

バッファロー修理センター

保証書について　修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理web予約　弊社ホームページより修理のweb予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。
http://buffalo.jp/shuri/
送付先住所　〒457−8570　愛知県名古屋市南区豊田3−3−5
株式会社バッファロー修理センター受付宛
電話番号　052-698-7330　※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。
月～金（祝日を除く）　9:30～12:00　13:00～17:00
送付いただく物　本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理票(*)
*修理票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理票を添付できない場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】

※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、LinkStation、TeraStationは、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容（接続ユーザ名/パスワード/無線暗号キー（WEP）等）を消去します。
修理完了後、再度設定が必要となりますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後10日程度（弊社営業日数）を予定しております。

5 ユーザ登録について

弊社ホームページ（https://online.buffalo.jp/）でユーザ登録が可能です。

※ユーザ登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。

必要な情報

①返送先（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
②平日昼間の連絡先
（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状／エラーメッセージ
⑥発生状況（初めから・ある日突然等）、
発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
⑦ご使用環境(パソコン機種名、OS(Windows XP等)、周辺機器)
⑧製品以外の添付品(ACアダプタ、ケーブルなど)

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.

PY00-30106-DM10-03　3-01　C10-006